

(様式7)

## 事業計画書目次

〔戸塚区〕

3款2項1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	身近で親しみのある区役所づくり事業	5,859	5,859	5,485	5,485	374	374	拡
2	誰もが安全・安心に利用できる区民利用施設環境整備事業	1,950	1,950	2,150	2,150	△ 200	△ 200	
3	区民に身近な広聴・効果的で分かりやすい広報事業	2,776	2,376	2,561	2,161	215	215	拡
4	歴史を生かしたまちづくり事業	2,592	2,592	1,463	1,463	1,129	1,129	拡
5	とつかブランド向上事業	411	411	461	461	△ 50	△ 50	
6	とつか環境未来エコライフ事業	1,900	1,900	1,078	1,078	822	822	拡
7	戸塚駅周辺サイン改修・設置事業	1,000	1,000	200	200	800	800	拡
8	とつかものづくり支援事業	3,170	3,170	2,525	2,525	645	645	拡
9	活気あるとつか商店街支援事業	1,518	1,518	1,339	1,339	179	179	拡
10	とつか花できれいなまちづくり事業	1,925	1,925	1,899	1,899	26	26	拡
11	とつか地域づくり支援事業	1,174	1,174	1,274	1,274	△ 100	△ 100	
12	美化推進事業	1,690	1,690	1,348	1,348	342	342	拡
13	戸塚区民まつり事業	4,010	4,010	4,010	4,010	0	0	
14	自治会町内会連絡調整事業	3,664	3,664	3,686	3,686	△ 22	△ 22	
15	とつか魅力再発見事業	814	814	784	784	30	30	拡
16	「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業	12,394	12,394	12,510	12,510	△ 116	△ 116	
17	防犯力強化事業	4,085	3,785	4,715	4,715	△ 630	△ 930	
18	交通安全・放置自転車対策事業	6,053	6,053	5,815	5,815	238	238	拡

(様式7)

## 事業計画書目次

〔戸塚区〕

3款2項1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
19	区民活動支援事業	9,057	9,057	8,933	8,933	124	124	拡
20	地域文化振興事業	1,500	1,500	1,500	1,500	0	0	
21	とつか音楽の街づくり事業	3,200	3,200	3,700	3,700	△ 500	△ 500	
22	スポーツ・レクリエーション振興事業	1,409	1,409	1,997	1,997	△ 588	△ 588	
23	青少年健全育成事業	1,475	1,475	1,565	1,565	△ 90	△ 90	
24	子育て応援事業	4,488	4,488	4,281	4,281	207	207	拡
25	保育所地域子育てパワーアップ事業	2,867	2,819	2,668	2,620	199	199	拡
26	子どもと家庭を支える虐待防止環境づくり事業	2,296	2,296	2,819	2,819	△ 523	△ 523	
27	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	8,558	8,558	8,558	8,558	0	0	
28	とつか健康パワーアップ事業	1,230	1,230	2,616	2,616	△ 1,386	△ 1,386	
29	子育て家庭のヘルスアップ事業【前年度：「大学と連携した親子健康づくり事業」と統合】	1,621	1,621	1,743	1,743	△ 122	△ 122	
30	とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業	4,477	4,477	5,651	5,651	△ 1,174	△ 1,174	
31	～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業	1,029	1,029	1,029	1,029	0	0	
32	戸塚区地域包括ケアシステム構築推進事業	3,533	3,533	2,700	2,700	833	833	拡
33	食と暮らしの安全・安心応援事業	1,133	1,133	1,246	1,246	△ 113	△ 113	
34						0	0	
35						0	0	
	計	104,858	104,110	104,309	103,861	549	249	

事業区課	戸塚区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	身近で親しみのある区役所づくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	5,859	0	0	0		5,859
令和3年度	5,485	0	0	0		5,485
増△減	374	0	0	0	0	374

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
予算	3,000	3,000	6,000	3,122	3,122	6,244	4,542	4,542	9,084
決算	2,890	2,890	5,780	2,970	2,970	5,940	16,232	16,232	34,464

事業概要	区民・来庁者が利用しやすく満足度の高い窓口サービスを提供するために、丁寧に適格な窓口案内、職員の人材育成、区庁舎の環境整備に取り組みます。					
事業開始年度	平成6年度					
根拠法令・方針決裁等	横浜市職員研修規程、横浜市人権施策基本指針、横浜市職員人権啓発研修推進要綱					
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた組織運営 ～区民に信頼され親しまれる区役所づくり～					

事業目的・効果(必要性)	<p>1 戸塚区総合庁舎は、区役所機能だけでなく、区民文化センターや行政サービスコーナー、ジョブスポット等、様々な機能を持った総合庁舎であり、地下3階から9階までの各階に様々な部署や機能が複雑に盛り込まれています。そのため、来庁者がスムーズに目的の場所にたどり着けるよう、引き続き充実した庁舎案内を行う必要があります。</p> <p>2 区民ニーズを的確に捉え、きめ細やかな行政サービスを提供するため、継続的に職員の業務知識向上及びサービス向上を図っていく必要があります。</p> <p>3 人権啓発は行政の重要な責務であり、職員一人ひとりの人権感覚・人権意識の向上を図り、人権尊重を基本とする市政運営を担う人材を育成するとともに、市民の人権意識の高揚に努める必要があります。</p> <p>4 大規模マンションの開発や他都市からの人口流入が増加を続ける中で、区民の地元意識や連帯感が希薄化し、住民同士のつながりや公共への関心が失われつつあります。区民主体の地域運営や心豊かな地域活動の礎として、あらゆる区民が郷土愛や連帯意識を共有できるよう、希望と誇りに満ちた顕著な業績を顕彰し、広く周知していく必要があります。</p> <p>5 戸塚区総合庁舎は、平成25年3月に供用開始されてから8年が経過していることから、サイン・備品類の更新をするとともに、時代に即して機能を強化します。</p> <p>6 予算編成時に把握できない区民ニーズや突発的な緊急課題へ迅速に対応する必要があります。</p>					
--------------	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<p>○庁舎案内件数(戸塚区総合庁舎2階) 平成28年度：74,418件、平成29年度：93,684件、平成30年度：56,322件、令和元年度：53,996件</p> <p>○窓口サービス満足度調査結果</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>職員のあいさつ</th> <th>職員の身だしなみ</th> <th>職員の言葉づかい</th> <th>職員の聞く態度</th> <th>職員の説明</th> <th>待ち時間の長さ</th> <th>待合場所の快適さ</th> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>98.7%</td> <td>99.0%</td> <td>99.7%</td> <td>98.7%</td> <td>96.7%</td> <td>91.7%</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>97.3%</td> <td>99.0%</td> <td>99.7%</td> <td>97.3%</td> <td>98.0%</td> <td>95.3%</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>99.7%</td> <td>99.7%</td> <td>99.3%</td> <td>99.3%</td> <td>99.3%</td> <td>98.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>							職員のあいさつ	職員の身だしなみ	職員の言葉づかい	職員の聞く態度	職員の説明	待ち時間の長さ	待合場所の快適さ	29年度	98.7%	99.0%	99.7%	98.7%	96.7%	91.7%	98.0%	30年度	97.3%	99.0%	99.7%	97.3%	98.0%	95.3%	98.0%	令和元年度	99.7%	99.7%	99.3%	99.3%	99.3%	98.0%	100.0%
	職員のあいさつ	職員の身だしなみ	職員の言葉づかい	職員の聞く態度	職員の説明	待ち時間の長さ	待合場所の快適さ																															
29年度	98.7%	99.0%	99.7%	98.7%	96.7%	91.7%	98.0%																															
30年度	97.3%	99.0%	99.7%	97.3%	98.0%	95.3%	98.0%																															
令和元年度	99.7%	99.7%	99.3%	99.3%	99.3%	98.0%	100.0%																															

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
庁舎案内件数	単位	目標	50000	54000	78000	78000	78000	78000	78000
	件	実績	53996	77606					
職員研修参加者数	単位	目標	70	70	70	70	70	70	70
	人	実績	63	35					
人権講演会参加者数	単位	目標	250	100	100	100	100	100	100
	人	実績	中止	90					

事業スケジュール	<p>通年実施(庁舎等案内事業、区庁舎環境改善・機能強化、緊急的課題への対応)</p> <p>11月(職員研修)</p> <p>9月、2月又は3月(人権啓発研修・講演会)</p> <p>1月(区民栄誉表彰)</p>					
----------	---	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 庁舎等案内事業	3,150	3,350	▲ 200	実績による減
	② 職員研修	170	170	0	前年度同額
	③ 人権啓発推進事業	324	324	0	前年度同額
	④ 区民栄誉賞	135	135	0	前年度同額
	⑤ 区庁舎環境改善・機能強化	1,580	1,006	574	庁舎Wi-Fiにかかるインターネット通信費の増
	⑥ 緊急的課題等への対応	500	500	0	前年度同額
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		5,859	5,485	374	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整
	甘粕 亜矢	馬上 征人	石川 亜沙美

# 令和 4年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	誰もが安全・安心に利用できる区民利用施設環境整備事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,950	0	0	0		1,950
令和3年度	2,150	0	0	0		2,150
増△減	△ 200	0	0	0	0	△ 200

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	0	0	0	2,650	2,000	2,000
算	市債+一般財源	0	0	0	2,650	2,000	2,000
決算	事業費	0	0	0			
算	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	誰もが利用しやすく、快適で満足度の高い施設運営を提供するために、区民利用施設の環境整備に取り組みます。								
事業開始年度	令和3年度								
根拠法令・方針決裁等	戸塚区バリアフリー基本構想、横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜市公共施設管理基本方針								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた取組の考え方「人と人がつながるまちづくり」「安全・安心を実感できるまちづくり」								
事業目的・効果 (必要性)	<p>区民利用施設は様々な目的を持った、幅広い年齢層の方が利用します。特に、高齢者や障がい者等への施設利用の利便性と安全性の向上を図るため、戸塚区バリアフリー基本構想に基づき、区民利用施設のバリアフリー化を進める必要があります。</p> <p>また、「横浜市地球温暖化対策実行計画」で2030年度までに高効率照明の割合を100%化するという方針に則り、公共施設のLED照明導入を促進していきます。特に、特定水銀使用の照明（水銀灯）は製造・輸出入の規制が予定されており、今後入手が困難になるため、計画的かつ早期にLED等の高効率照明に転換する必要があります。</p> <p>その他、予算編成時に想定できない突発的な緊急課題へ迅速に対応し、新型コロナウイルス感染症を始めとする感染症対策も含めて、誰もが安全・安心に利用できる区民利用施設を運営していく必要があります。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸塚区内区民利用施設照明設置状況（地域振興課所管施設） <ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明数 1,572灯</li> <li>全灯数 5,140灯</li> <li>LED化率 30.6%</li> <li>水銀灯 82灯（全灯数に含む）</li> </ul> </li> <li>緊急的課題（台風・突発事故等）による整備費推移 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年：324,000円</li> <li>令和元年：1,598,529円</li> <li>令和2年度：515,500円</li> </ul> </li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
全灯数に占めるLED照明の割合	単位	目標	25	30	35	40	45	55	65
	%	実績	-	-					
	単位	目標							
	実績								
	単位	目標							
	実績								
事業スケジュール	<p>令和3年度 戸塚地区センタースロープ滑り止め工事</p> <p>令和4年度 東戸塚地区センター点字ブロック塗装、駐車場案内表示</p> <p>令和5年度 東戸塚地区センター歩行者用通行帯塗装</p>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区民利用施設環境改善・機能強化	1,350	1,550	▲ 200
②	緊急的課題等への対応	600	600	0	前年度同額
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	1,950	2,150	▲ 200	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 情野 純平	地域活動 田中 芳晴	係
--------------------	-------------	-------------	---------------	---

事業区課	戸塚区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区民に身近な広聴・効果的でわかりやすい広報事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,776	0	0	400		2,376
令和3年度	2,561	0	0	400		2,161
増△減	215	0	0	0	0	215

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,672	1,589	1,660	3,000	3,000	3,000
	市債+一般財源	2,200	1,117	1,660	3,000	3,000	3,000
決算	事業費	2,226	1,834	3,546			
	市債+一般財源	1,881	1,500	3,546			

事業概要	<p>区民の皆様からご意見、ご要望をいただく広聴事業や区政モニター等の活用により、施策等に対する区民の皆様の意向を把握し、政策形成の参考とします。</p> <p>区民目線を大切にするとともに、職員の広報マインドを高めながら、より分かりやすく区政情報を発信していきます。また、様々な広報資源を活用して効果的で分かりやすい広報事業を推進します。</p>								
事業開始年度	平成17年度								
根拠法令・方針決裁等	「市民の声」事業の実施に関する取扱要綱、区における総合行政の推進に関する規則								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成にむけた組織運営 ～区民に信頼され親しまれる区役所づくり～								
事業目的・効果(必要性)	<p>地域ニーズや課題の多様化に伴い、行政の施策もきめ細かく多様なものとなっていますが、これらの行政情報を確実に伝えることが、区民一人ひとりが抱える課題解決に不可欠です。また、日頃区役所との関わりが少ない若年層のご意見等も積極的に収集し、施策や広報に反映する必要があります。</p> <p>さらにあらゆる世代に情報を届けるため、デジタル媒体・紙媒体など様々な媒体で情報を発信し、区民の方が必要な時に必要な情報を取得できるようにする必要があります。</p>								
根拠・データ等	<p>■広聴          &lt;案件件数&gt;令和2年度 691件、3年度 600件(見込)          ■戸塚区ウェブサイト          &lt;ページビュー数&gt;令和元年度 2,139,748件、2年度 2,280,841件          ■戸塚区公式ツイッター(フォロワー数、閲覧数)          &lt;フォロワー数&gt;          ■令和2年度 5,737人 令和3年度 8,400人(9月現在)</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
区民意識調査「情報を必要に応じて取得できている人」の割合	単位	目標	55	60	60	65	65	70	70
	%	実績	57	-					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	・通年実施								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 区民に身近な広聴	198	303	▲ 105	事務費削減による減
	② 様々なメディア・ツールを用いた情報提供	2,018	2,108	▲ 90	実績に基づく減
	③ 区役所全体の広報力の強化	560	150	410	区内商業施設への配送委託による増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		2,776	2,561	215	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	武 規和	平山 慎一	三石 枝里子

事業区課	戸塚区	区政推進 課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	歴史を生かしたまちづくり事業						

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	2,592	0	0	0			2,592
令和3年度	1,463	0	0	0			1,463
増△減	1,129	0	0	0	0	0	1,129

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	174			1,122			1,064			3,252			3,252			3,252	
市債+一般財源	174			1,122			1,064			3,252			3,252			3,252		
決算	156			1,185			1,027											
市債+一般財源	156			1,185			1,027											

事業概要	旧東海道の宿場町に代表される戸塚区ならではの地域主体の「まち育て」の方策を探るとともに、歴史を生かしたより魅力あるまちづくりを区民の方々と協働で進めます。								
事業開始年度	平成23年度								
根拠法令・方針決裁等									
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	戸塚区運営方針「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」の中では、歴史を生かしたまちづくりを進めるという目標を掲げています。東海道五十三次・戸塚宿として400年以上の歴史を持つ戸塚区の、東海道を含めた区全体の歴史資源を活用し、まちづくりの主体である地域の盛り上がりを高めます。また、戸塚区ならではの歴史を生かしたより魅力あるまちづくりを実現することで、区民の戸塚区への愛着をより高めます。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度戸塚区運営方針「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」</li> <li>令和元年度戸塚区民意識調査「文化・芸術に親しめる環境」重要度(※1) 52.3% (全18項目中で18位)</li> <li>同調査「文化・芸術に親しめる環境」満足度(※2) 15.9% (全18項目中16位)</li> <li>※1重要度：「重要」「やや重要」と回答した人の割合(%)の合計の値</li> <li>※2満足度：「満足」「やや満足」と回答した人の割合(%)の合計の値</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
歴史啓発(イベント参加者、マップ配布)	単位	目標	7,000	7,000	6,000	7,500	8,000	8,000	8,000
	人	実績	6,655	1,500					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	平成28年度～令和元年度：旧東海道パネル展、区民団体主催のとつか宿場まつりを後援 令和元年度：道案内・歴史案内サインを設置 令和2年度：道案内・歴史案内サインを設置、散策マップの更新 令和3年度：今後の歴史事業の方向性検討、図書館と連携した歴史に関する資料の展示、旧東海道パネル展、区民団体主催のとつか宿場まつりを後援、散策マップ配布 令和4年度：旧東海道のほか大山道なども追加した戸塚区の歴史的資源をまとめたマップを作成・ウェブ上で公開、旧東海道パネル展、区民団体主催のとつか宿場まつりを後援、散策マップ配布								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	歴史を生かしたまちづくり事業	2,592	1,463	1,129	個別事業の実施等による増
②		0	0	0		
③		0	0	0		
④		0	0	0		
⑤		0	0	0		
⑥		0	0	0		
⑦		0	0	0		
⑧		0	0	0		
⑨		0	0	0		
⑩		0	0	0		
	細事業合計	2,592	1,463	1,129		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 武 規和	係長 奥住 邦昭	企画調整係 鳥羽野 友里
--------------------	---------	----------	--------------

事業区課	戸塚区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつかブランド向上事業					

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	411	0	0	0		411
令和3年度	461	0	0	0		461
増△減	△50	0	0	0	0	△50

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費	720	685	605	450	450
市債+一般財源	720	685	605	450	450	450
決算	655	679	603			
市債+一般財源	655	679	603			

事業概要	戸塚の魅力の1つである「おいしいもの」を「おいしいもの とつかブランド」として認定し、区内を巡ったり、戸塚区を訪れていただくなどの機会を生み出し、地域の活性化と戸塚のブランド力向上を図ります。 また、戸塚区は農地面積市内5位、農家数市内6位と農業が盛んに行われています。地産地消の推進を検討するため、区内の農や農畜産物に関する基礎情報を調査します。							
事業開始年度	平成26年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	戸塚の魅力の1つである「おいしいもの」を「おいしいもの とつかブランド」として認定し、区内を巡ったり、戸塚区を訪れていただくなどの機会を生み出し、地域の活性化と戸塚のブランド力向上を図ります。 平成27年4月に「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」が施行され、市が地産地消に関する関心と理解を深めるための広報等に努めることが求められています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度実施「おいしいもの とつかブランド」スタンプラリー スタンプラリーには、戸塚区外からも多数ご参加いただき、戸塚区の魅力が区内外へさらに広めていくことができました。回答者の96%以上が新たな店に行くきっかけとなったと回答しており、区内商業の活性化にもつながりました。</li> <li>令和2年度環境に関する市民意識調査(環境創造局実施) 関心のある項目において、「食の安全・食育」は3番目に選択率が高く(62.2%)、「30~39歳」においては最も高い(65.9%)。「農に親しむ場や機会がある(近くに畑や水田がある、横浜産野菜や果物を買う・食べられる場がある等)」「そう思う」戸塚区(25.4% 6位/18区中) 横浜市全体(21.5%)</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
PR冊子の配布数	単位	目標	4000	5000	4000	3000	3000	
	品	実績	4900	5500				
区民意識調査 戸塚区に対する愛着や誇り(感じている、やや感じている)	単位	目標	65.6	66.0	66.0	67.0	68.0	68.0
	%	実績	65.6					
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	《各年度の主な取組》 1 「おいしいもの とつかブランド」事業 平成27年度 PR冊子を作成(発行部数10,000部) 28年度 ホームページを作成(インターンシップで受け入れた学生などの協力を得て作成) 29年度 スタンプラリーを開催 30年度 認定品の追加認定(追加にあたっては、区内大学の学生お薦め枠を新設) 令和元年度 追加認定品を含むPR冊子の印刷・配布及び区庁舎デジタルサイネージの更新 2年度 PR冊子の改訂・増刷・配布及び区庁舎デジタルサイネージの更新 3年度 PR冊子の増刷・配布、広報よこほま、戸塚区公式SNS等を利用した情報発信 《今後見込み》 2 地産地消の推進検討 4年度 地産地消のデータ収集 5年度 地産地消マップの発行、ホームページを作成							

(単位:千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	「おいしいものブランド」の魅力向上	231	461	▲230
②	地産地消の推進検討	180	0	180	地産地消の推進にかかる調査委託による増
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	411	461	▲50	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 武 規和	係長 大泉 優一	企画調整 係 齊木 江水
--------------------	---------	----------	--------------

# 令和 4年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつか環境未来エコライフ事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,900	0	0	0		1,900
令和3年度	1,078	0	0	0		1,078
増△減	822	0	0	0	0	822

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,600	1,200	1,323	1,900	1,900	1,900
	市債+一般財源	1,600	1,200	1,323	1,900	1,900	1,900
決算	事業費	1,290	1,228	898			
	市債+一般財源	1,290	1,228	898			

事業概要	<p>区民、一人ひとりが脱温暖化行動に取り組む機運を醸成し、脱炭素・環境活動を生活に定着させることができるよう普及啓発を図ります。さらに、環境関連事業を中心にSDGsの視点を踏まえ、他行政、民間企業、教育機関など幅広い関係者との連携による取組を進めます。</p>							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市脱炭素条例、横浜市地球温暖化対策実行計画、横浜市SDGs未来都市計画							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<p>令和2年10月、国において2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことが宣言され、横浜市においても2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロ（脱炭素化）の実現を目指す姿とする「Zero Carbon Yokohama」が掲げられています。また、令和3年6月には「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例」が施行され、市の責務として市民が脱炭素社会の形成に向けた施策について理解を深めるため、環境教育等の学習の促進、啓発普及を行うこととされています。戸塚区においては、川上地区、北海道下川町、戸塚区の三者で平成23年8月に友好交流協定を締結しており、様々な取組を実施している中、令和3年度から戸塚モデルとして、下川町との連携による戸塚高校での環境教育の推進に取り組んでいます。2030年のSDGsの達成に向けては、ヨコハマSDGsデザインセンターや地域の団体や人材等と協働しながら、環境に関する普及啓発等について、子供から大人まで切れ目なく推進していく必要があります。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度横浜市市民意識調査：市政要望項目で「地球温暖化対策」が第5位</li> <li>温室効果ガス排出量（家庭部門） <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国 2019年度：14.4%、2018年度：14.6%、2017年度：15.8%</li> <li>・横浜市 2019年度：24.8%、2018年度：24.8%、2017年度：24.0%</li> </ul> </li> <li>国による新たな2030年度温室効果ガス削減目標：46%削減（2013年度比）</li> <li>環境に関する市民意識調査（環境創造局実施） <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境や環境の取組への関心について「関心がある」</li> <li>2020年度：87%、2019年度：88.7%、2018年度：82%</li> <li>・1年以内に地域の環境活動や環境活動団体への参加について「参加した」</li> <li>2020年度：13.3%、2019年度：12.8%、2018年度：13.9%</li> </ul> </li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
環境講演会参加人数	単位	目標	未実施	未実施	150	150	150	150
	人	実績	未実施	未実施				
冊子を活用した学校での取組	単位	目標	未実施	5	5	5	5	5
	回	実績	未実施	1				
	単位	目標						
	団体	実績						
事業スケジュール	<p>～令和元年度 エコフェスタ実施（令和2年度中止、令和3年度から手法転換）  令和元年度～SDGs出張授業プログラム冊子の作成等  令和3年度～環境講演会開催  令和3年度～下川町との連携による戸塚高校での環境教育開始</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① エコ普及・啓発事業	481	481	0	前年度同額
	② SDGsの推進	419	597	▲ 178	啓発物品の精査等による減
	③ 北海道下川町との連携による戸塚高校での環境教育の推進	1,000	0	1,000	新規事業による増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	1,900	1,078	822	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 武 規和	係長 大泉 優一	企画調整 係 石川 崇
--------------------	---------	----------	-------------



事業区課	戸塚区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	戸塚駅周辺サイン改修・設置事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,000	0	0	0		1,000
令和3年度	200	0	0	0		200
増△減	800	0	0	0	0	800

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	0	0	4,000	1,000	0	0
	市債+一般財源	0	0	4,000	1,000	0	0
決算	事業費	0	0	2,300			
	市債+一般財源	0	0	2,300			

事業概要	第二交通広場（戸塚区役所1F）の利用率向上を目的とした、効果的な誘導・案内計画等を策定し、同交通広場及び駅周辺のサイン改修案を検討します							
事業開始年度	令和2年度							
根拠法令・方針決裁等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、横浜市福祉のまちづくり条例、戸塚区バリアフリー基本構想							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	戸塚区は、平成20年度に策定した「戸塚駅周辺地区バリアフリー基本構想」について見直しを図り、「戸塚区バリアフリー基本構想（以下「基本構想」という）」を平成30年度に策定し、この基本構想に基づき5年以内を原則として、令和2年度に戸塚駅周辺サイン改修・設置計画を策定しました。令和3年度は、当該計画に則ったサインの改修・設置を行っています。また、駅周辺の交通対策の一環として、第二交通広場の利用率向上を目的とした実態調査を行っており、その結果を踏まえた効果的な案内・誘導計画を策定し、第二交通広場内及び駅周辺サイン改修案を検討します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸塚区バリアフリー基本構想</li> <li>戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプラン</li> <li>戸塚駅周辺サイン改修・設置計画（計54か所）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
戸塚駅周辺サイン改修計画	単位	目標	1		1			
	策定	実績	1					
戸塚駅周辺サイン改修枚数	単位	目標		2		10		
	枚	実績						
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<p>令和2年度 基本構想に基づき、戸塚駅周辺サインのバリアフリー化の検討及び、各サインの管理者等との事前調整・協議を実施。</p> <p>令和3年度 前年度実施した検討・協議結果に基づき策定した戸塚駅周辺サイン改修・設置計画に則り、区政推進課が所管するサインを改修・設置。</p> <p>令和4年度 第二交通広場の利用率向上を目的として過年度に実施した実態調査結果を踏まえ、第二交通広場への案内・誘導計画を策定及びサイン改修案を検討します。</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 戸塚駅周辺サイン改修・設置事業	1,000	200	800	第二交通広場サイン改修案策定等による増
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		1,000	200	800	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 武 規和	係長 奥住 邦昭	企画調整 係 宮原 真人
--------------------	---------	----------	--------------

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつかものづくり支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,170	0	0	0		3,170
令和3年度	2,525	0	0	0		2,525
増△減	645	0	0	0	0	645

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,855	1,945	3,326	3,170	3,170	3,170
	市債+一般財源	1,855	1,945	3,326	3,170	3,170	3,170
決算	事業費	2,000	1,613	3,049			
	市債+一般財源	2,000	1,613	3,049			

事業概要	高度なものづくり技術や独創的な製品を持ち、真摯かつ熱心な事業活動を行う中小ものづくり事業者の紹介をとおして、区民のものづくり企業に対する関心を高めるとともに、イベント等を通じて地域の活動者や企業間連携を促進することにより地域経済の活性化を図ります。								
事業開始年度	平成24年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市中小企業振興基本条例								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	<p>《区内中小製造企業紹介事業》 戸塚区ものづくり企業紹介冊子を作成し、戸塚区内の高い技術力を持ち地元へ根差した事業活動を行う各企業の紹介を通して区民の地元企業への関心を高めることで、販路拡大や雇用維持等地域経済の活性化の一助とします。</p> <p>《戸塚ものづくり自慢展事業》 ものづくり企業の技術や製品の魅力を発信する「戸塚ものづくり自慢展」を開催します。 区内中小ものづくり企業の高度な技術を表示や実演で紹介するとともに、小学生を対象とした工作体験教室を実施します。 イベントを通じて区民と企業がふれあい、また、出展企業同士がつながる機会を設けることで企業間連携と地域経済の活性化を図ります。</p>								
根拠・データ等	戸塚泉栄工業会 99社 戸塚工業団地協同組合 27社 横浜第二工業団地連合会 26社								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
戸塚ものづくり自慢展来場者数	単位	目標	-	500	1000	1100	1200	1300	1400
	人	実績	-	700					
戸塚ものづくり自慢展出展企業数	単位	目標	10	10	10	13	15	15	15
	社	実績	中止	7					
	単位	目標							
	実績								
事業スケジュール	平成25年度 戸塚ものづくり自慢展開始 令和2年度 戸塚区ものづくり企業紹介冊子開始								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 区内中小製造企業紹介事業	1,325	1,330	▲5	契約実績に基づく減
	② 戸塚ものづくり自慢展事業	1,845	1,195	650	開催方法見直しによる増
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		3,170	2,525	645	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	有泉 廣隆	大橋 菜々子

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	活気あるとつか商店街支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,518	0	0	0		1,518
令和3年度	1,339	0	0	0		1,339
増△減	179	0	0	0	0	179

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	600	550	550	2,090	2,090	2,090
	市債+一般財源	600	550	550	2,090	2,090	2,090
決算	事業費	421	473	1,662			
	市債+一般財源	421	473	1,662			

事業概要	区内の商店会と協力して活気ある商店街づくりを推進します。							
事業開始年度	平成25年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市中小企業振興基本条例、横浜市商店街の活性化に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>商店会は経済活動の場としてだけでなく、地域住民向けのイベント開催や街灯の維持管理、地域コミュニティの核としての役割を果たしていますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりその役割がなかなか果たせず、飲食店を中心に個人経営店が深刻な打撃を受けています。</p> <p>このような状況下ですが、商店会にかつての賑わいを創出するために経済局の支援策を活用するとともに、スタンプラリーを開催して買い物客を商店会に誘導したり、地域住民向けのイベントを開催するなど区独自の取組みを行い、活気ある商店街づくりを支援していきます。</p>							
根拠・データ等	横浜市中小企業振興基本条例、横浜市商店街の活性化に関する条例							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
商店会数	単位	目標	11	11	11	11	11	11
	商店会	実績	11	11				
区商連加盟店舗数	単位	目標	500	500	500	500	500	500
	店舗	実績	472	490				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	令和2年度：商店街スタンプラリー開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	商店街活性化事業	1,418	1,189	229
②	個人商店魅力アップ事業	100	150	▲50	3年度実績に基づく減
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	1,518	1,339	179	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	有泉 廣隆	稲葉 拓哉

# 令和 4年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	土木事務所 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつか花できれいなまちづくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,925	0	0	0		1,925
令和3年度	1,899	0	0	0		1,899
増△減	26	0	0	0	0	26

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,070	4,581	1,859	1,925	1,925	1,925
	市債+一般財源	1,070	4,581	1,859	1,925	1,925	1,925
決算	事業費	1,413	4,315	1,933			
	市債+一般財源	1,413	4,315	1,933			

事業概要	自治会・町内会やハマロードサポーター、水辺愛護会、公園愛護会、福祉団体、企業、商店会などで、地域の実情にあった組み合わせで構成する組織をつくり、定期的に花植えや植栽の維持管理を行い、周辺の歩行者や地域住民を季節の花で迎えます。						
事業開始年度	平成30年度						
根拠法令・方針決裁等	花できれいなまちづくり事業要綱						
運営方針等との関連							

事業目的・効果 (必要性)	戸塚区内の鉄道駅とその周辺の道路、河川、公園等において、花植え等の活動を行うことで、まちの美化を図るとともに、それらの活動を通じ地域の生活環境を大切にする風土と地域の絆を醸成する。						
根拠・データ等	活動団体(花さかクラブ)数						

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
活動団体	単位	目標	4	4	4	4	4	4	4
	団体	実績	3.0	3.0					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	【戸塚駅】30年度に「戸塚駅花さかクラブ」を設立。戸塚駅周辺における花植え等の活動支援(花苗の提供など)。 【東戸塚駅】30年度に「花さかクラブ」を設立。地域の団体の花植え等の活動支援(花苗の提供など)。 【舞岡駅】元年度に『ふるさと舞岡「花さかクラブ」えきまえ』を設立。舞岡駅周辺における花植え等の活動支援(花苗の提供など)。2年度に『ふるさと舞岡「花さかクラブ」まいしょう』を設立。3年度に『ふるさと舞岡「花さかクラブ」まいこう』を設立。舞岡高等学校周辺における花植え等の活動支援(花苗の提供など)。 【踊場駅】3年度中に「花さかクラブ」設立し、地域団体が継続して活動できる環境整備や花植え等の支援を実施予定。						
----------	--	--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	とつか花できれいなまちづくり事業	1,925	1,899	26
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
細事業合計		1,925	1,899	26	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理
	塚田 浩一	山口 祐子	井上 清志

事業区課	戸塚区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつか地域づくり支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,174	0	0	0		1,174
令和3年度	1,274	0	0	0		1,274
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	500	1,050	1,150			
	市債+一般財源	500	1,050	1,150	1,774	1,774	1,774
決算	事業費	574	932	759			
	市債+一般財源	574	932	759	1,774	1,774	1,774

事業概要	<p>区民が主体となつて行う居場所づくりの経費等を補助して支援します。 また、職員に地理情報システム (GIS) の操作研修を実施し、地図データの活用を推進します。</p>							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	戸塚区地域の居場所づくり補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「人と人がつながるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>高齢化等に伴う地域の課題解決を図るため、居場所づくりを推進します。 地域住民が気軽に集まり、活動ができる場が、交流や助け合いによるより良いまちづくりにつながります。また、集まる場ができることで、地域の情報の集約・交換が広がります。 データ活用を可能にすることで、効果的な地域支援につなげます。</p>							
根拠・データ等	<p>戸塚区の高齢化率 (65歳以上の老年人口)、65歳以上のひとり暮らし高齢者数 (各年9月30日現在) [ともに年々増加] 令和2年 25.5%、19,282人 令和元年 25.2%、18,704人 平成30年 25.0%、17,942人 平成29年 24.8%、17,197人 平成28年 24.3%、16,513人</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
支援によって立ち上がった居場所の数	単位	目標	9	9	9	9	9	9
	か所	実績	4	5				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度：事業開始 (補助金要綱制定)</li> <li>平成26年度～平成27年度、平成30年度、令和2年度：新規で1団体補助 (各年度)</li> <li>平成30年度：補助金要綱を改正して新たな運用 (補助金額の減)</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引 (増減)	増減説明
	① 地域の居場所づくりの支援	970	1,070	▲ 100	継続申請を見込んだことによる減
	② 地図データの活用推進	204	204	0	前年度同額
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		1,174	1,274	▲ 100	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域力推進担当
	武 規和	福山 郁敏	係 桜井 拓哉

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	美化推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,690	0	0	0		1,690
令和3年度	1,348	0	0	0		1,348
増△減	342	0	0	0	0	342

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,320	1,375	1,595			
	市債+一般財源	1,320	1,375	1,595	1,690	1,690	1,690
決算	事業費	1,331	1,350	572			
	市債+一般財源	1,331	1,350	572	1,690	1,690	1,690

事業概要	「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、きれいな街づくり事業、「花の小道」事業、3R推進事業の3つの事業を実施し、区民と連携しながら食品ロス削減やプラスチックごみ削減など、ごみの減量とリサイクル（3R）を一層推進します。								
事業開始年度	平成6年度								
根拠法令・方針決裁等	廃棄物・処理及び清掃に関する法律第6条第1項、ヨコハマ3R夢プラン								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	<p>「ヨコハマ3R夢プラン」では、分別・リサイクルのみならず、環境に最もやさしいリデュース（発生抑制）の取り組みを進めて、ごみと資源の総量を削減するとともに脱温暖化を推進し、環境負荷の更なる低減を図ることで、豊かな環境を後世に引き継ぐことを目指しています。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、市民が家で過ごす時間が長くなったことなどにより、ごみと資源の総量は令和元年度以降増加しております。</p> <p>このような状況下でも、戸塚区では「ヨコハマ3R夢プラン」を推進して燃やすごみ量を削減するため、きれいな街づくり事業、花の小道事業、3R推進事業の3つを実施していきます。</p>								
根拠・データ等	ヨコハマ3R夢プラン、横浜市ごみと資源の総量								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
ごみと資源の総量	単位	目標	60,140	59,726	59,726	59,726	59,726	59,726	59,726
	グラム	実績	60,767	62,187					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	平成30年度 　ごみと資源の総量の目標設定と目標達成に向けた取組 令和元年度 　" 令和2年度 　" 令和3年度 　" 令和4年度 　"								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① きれいな街づくり推進事業	20	66	▲ 46	記念品配付見直しによる減
	② 「花の小道」事業	690	222	468	事業対象拡充による増
	③ 3R夢推進事業	980	1,060	▲ 80	事業見直しによる減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		1,690	1,348	342	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	松本 久志	武田 正善	稲葉 拓哉

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	戸塚区民まつり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,010	0	0	0		4,010
令和3年度	4,010	0	0	0		4,010
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	3,221	3,754	3,754	4,120	4,120	4,120
	市債+一般財源	3,221	3,754	3,754	4,120	4,120	4,120
決算	事業費	3,438	3,503	3,503			
	市債+一般財源	3,438	3,503	3,503			

事業概要	区民の郷土愛を育て連帯意識の高揚を図り、ふれあいと活気があふれる地域交流を促進するため、戸塚区民まつりを実施します。また、区民の憩いの場を確保するため、桜の開花時期に合わせ柏尾川周辺の環境整備を実施します。								
事業開始年度	平成6年度								
根拠法令・方針決裁等	戸塚区民まつり補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「人と人をつなげるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	<p>戸塚区では土地開発が進み、例年、市外や市内他区からの転入者が多く、区民の地元意識及び連帯意識は希薄化する傾向にあり、区民主体の地域づくり推進の逆風となっています。また、コロナ禍における地域活動等の自粛により地域の中のつながりも希薄化しています。</p> <p>この課題を解決するため、区民、地域の活動団体、福祉団体、企業、学校等の連携・交流の場が今後ますます必要とされます。本事業は、戸塚区に愛着を持ち戸塚区のために活動している各種団体、企業、学校等が一同に会して日頃の活動や戸塚区の魅力を発信することで地域の賑わいを創出し、あらゆる世代、団体等がふれあい、地域コミュニティを活性化させることで地元への愛着度を高揚することを目的として、戸塚区民まつり実行委員会及び戸塚ふれあい文化祭実行委員会に対する支援を行います。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外からの転入者数【行政区別人口動態より】          &lt;実績推移&gt;令和2年度8,384人、令和元年度9,044人、平成30年度9,304人、平成29年度8,775人、平成28年度9,065人</li> <li>・市内他区からの転入者数【行政区別人口動態より】          &lt;実績推移&gt;令和2年度4,453人、令和元年度4,939人、平成30年度5,252人、平成29年度4,875人、平成28年度4,641人</li> <li>・区民意識調査(戸塚区に対する愛着度) &lt;調査結果&gt;          令和元年度 感じている28.7%、やや感じている36.7%、あまり感じていない10.1%、感じていない2.7%          平成29年度 感じている28.4%、やや感じている34.1%、あまり感じていない9.5%、感じていない2.5%          平成26年度 感じている35.4%、やや感じている33.4%、あまり感じていない10.8%、感じていない2.2%</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
区民意識調査(愛着度)	単位	目標	30.0	-	30.0	-	33.0	-	35.0
	%	実績	28.7	-					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	平成6年度～令和元年度：東戸塚小学校を会場として開催。「健康まつり」を同体育館で同時開催 平成29年度～：日立製作所において「はたらく車展」を同時開催 令和2年度、令和3年度：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 柏尾川周辺の環境整備	210	210	0	前年度同額
	② 戸塚区民まつり事業(ふれあい区民まつり)	3,360	3,360	0	前年度同額
	③ 戸塚区民まつり事業(ふれあい文化祭)	440	440	0	前年度同額
	④	0	0	0	0
	⑤	0	0	0	0
	⑥	0	0	0	0
	⑦	0	0	0	0
	⑧	0	0	0	0
	⑨	0	0	0	0
	⑩	0	0	0	0
細事業合計		4,010	4,010	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	有泉 廣隆	山中 杏莉

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	自治会町内会連絡調整事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,664	0	0	0		3,664
令和3年度	3,686	0	0	0		3,686
増△減	△ 22	0	0	0	0	△ 22

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,418	3,498	3,686	3,664	3,664	3,664
	市債+一般財源	2,418	3,498	3,686	3,664	3,664	3,664
決算	事業費	2,840	2,254	2,194			
	市債+一般財源	2,840	2,254	2,194			

事業概要	市及び区から自治会町内会への依頼及び連絡などに係る調整を行うことにより、自治会町内会に対し、多くの情報を提供するとともに、地域の自主的な活動を支援します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	-							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「人と人をつなげるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	自治会町内会未加入世帯への加入促進対策、役員の高齢化など多くの課題を抱える自治会町内会にとって、行政からの依頼業務は負担として受け止められるケースが生じてきています。 自治会町内会は、横浜市の様々な施策を推進するための、大切な協働パートナーです。行政が自治会町内会に依頼する業務については内容を検討し、負担とならないよう配慮しつつ、地域の自主的な活動が促進されるよう、引き続き努めていく必要があります。							
根拠・データ等	自治会町内会への加入状況、自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自治会町内会加入率	単位	目標	72	72	70	70	70	70
	%	実績	71.7	70.7				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成6年度～令和4年度 仕分け配送業務：4月～3月 ※休会（8月、12月）を除く計10回 自治会町内会長感謝会：3月上旬開催 加入促進：通年							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 仕分け配送業務	2,370	2,370	0	前年同
	② 自治会町内会長感謝会	1,244	1,266	▲ 22	表彰対象者の減
	③ 加入促進	50	50	0	前年同
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		3,664	3,686	▲ 22	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	岩崎 広之	有泉 廣隆	陣田 翼



事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつか魅力再発見事業					

(単位: 千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	814	0	0	0		814
令和3年度	784	0	0	0		784
増△減	30	0	0	0	0	30

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,095	649	724	814	814	814
	市債+一般財源	770	649	724	814	814	814
決算	事業費	1,045	705	218			
	市債+一般財源	771	705	218			

事業概要	区制70周年を記念して誕生した戸塚区マスコットキャラクター「ウナシー」を活用し、各種団体との協働により、斑点の色に込められた戸塚区の魅力を知ってもらい、自分たちの住む町への愛着の醸成を図ります。							
事業開始年度	平成21年度							
根拠法令・方針決裁等	戸塚区マスコットキャラクターウナシーのデザイン使用に関する取扱要綱、戸塚区マスコットキャラクター「ウナシー」着ぐるみ使用要領							
運営方針等との関連	令和3年度度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	区制70周年を記念して誕生した戸塚区マスコットキャラクター「ウナシー」を活用し、各種団体との協働により、斑点の色に込められた戸塚区の魅力を知ってもらい、自分たちの住む町への愛着の醸成を図ります。 大規模な再開発等により、区内への転入者が増加している中で区民、とりわけ子育て世代やその子ども達の地域への愛着を醸成していく必要があります。また、地域に根ざした郷土愛の醸成のため、戸塚区の歴史の普及や自然保護等について活動している地域団体の活動を支援していく必要があります。 ウナシーなぞとき広場の参加者アンケート結果によると、イベントに参加することで「ウナシー」及び戸塚区への愛着が増しています。							
根拠・データ等	戸塚区区民意識調査、ウナシーなぞとき広場参加者アンケート							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
なぞとき広場 戸塚区愛着度	単位	目標	—	—	50	50	50	50
	%	実績	—	—				
なぞとき広場 参加者数	単位	目標	180	180	180	180	180	180
	人	実績	163	0				
ウナシー着ぐるみ 貸出件数	単位	目標	30	30	30	30	30	30
	件	実績	62	14				
事業スケジュール	《ウナシーなぞとき広場事業》 企画検討(2~4月)、参加者募集(5月)、参加者決定(6月)、実施(7月) 《ウナシー普及事業》 着ぐるみ貸出(通年)、修繕・クリーニング(12~3月)							

(単位: 千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① ウナシーなぞとき広場事業	564	504	60	チラシデザイン委託による増
	② ウナシー普及事業	250	280	▲30	実績による減
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		814	784	30	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	権嶋 健行	村上 華子

事業区課	戸塚区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	12,394	0	0	0		12,394
令和3年度	12,510	0	0	0		12,510
増△減	△ 116	0	0	0	0	△ 116

歳出				令和5年度	令和6年度	令和7年度
子事業費	7,058	11,810	10,443	11,500	11,500	11,500
算市債+一般財源	7,058	11,810	10,443	11,500	11,500	11,500
決事業費	8,279	12,149	20,743			
算市債+一般財源	8,279	12,149	20,743			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「災害に強いまちとつか」に向けて、ハザードマップ等の配布や地域防災力の向上を支援するなど、地域の自助・共助の推進に寄与する事業を展開します。</li> <li>震災や風水害等の災害時に備え、区職員を対象とした訓練をはじめ、関係機関とも連携し訓練等を実施します。</li> </ul>							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、各種横浜市防災計画							
運営方針等との関連	戸塚区運営方針「安全・安心を実感できるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時における避難場所の混雑緩和や新型コロナウイルス感染症対策等につなげるため、在宅避難を広く周知すること。また、在宅避難が可能となるよう、備蓄や家具の転倒防止等、自助の取組を促進すること。</li> <li>地域防災拠点開設・運営の支援や、町の防災組織が抱える防災に関する課題の解決を支援し、地域での共助を促進すること。</li> <li>関係機関と連携した訓練等の実施により、災害時における帰宅困難者対策に取り組むこと。</li> <li>職員の危機対応能力の向上及び災害時における対応力向上を図ること。</li> <li>電力の維持が欠かせない区民の災害リスクを低減するため、災害時の停電等への対応力向上を図ること。</li> </ul>							
根拠・データ等	<p>【横浜市防災計画（震災対策編2021）から抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難者数：約41,112人（元禄型関東地震）</li> <li>帰宅困難者数（平日12時想定）：区内約25,000人</li> </ul> <p>※帰宅困難者とは、地震発生時に外出している者のうち、近距離徒歩帰宅者を除いた人</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地域防災拠点訓練参加者数	単位	目標	8000	500	700	700	700	700
	人	実績	6478.0	884.0				
マンション防災講座受講団体数(累計)	単位	目標	130	150	170	190	210	230
	回	実績	132.0	169.0				
とつか減災フェア参加者数	単位	目標	1000	中止	500			
	人	実績	1200	中止				
事業スケジュール	令和元年度：地域防災アドバイザー派遣事業を導入 令和2年度：マンション防災講座（出前形式）を導入 令和3年度：災害時における避難場所と区災害対策本部の情報伝達手段の多重化のため、タブレット端末を導入 令和4年度：帰宅困難者対策の取組ガイドラインの策定							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 防災・減災啓発の実施	3,736	3,490	246	広報印刷物の配付実績増による増
② 関係機関との連携強化	0	250	▲ 250	訓練方法変更による減	
③ 区本部体制の整備	2,353	2,600	▲ 247	通信運搬費の実績精査による減	
④ 地域防災拠点等の対応力強化	2,080	2,490	▲ 410	必要品精査等による減	
⑤ とつか減災フェアの開催	2,100	1,797	303	実績精査による増	
⑥ 土砂・浸水災害等対策	130	680	▲ 550	購入品精査による減	
⑦ 災害時停電対策	1,122	0	1,122	新規事業による増	
⑧ 災害医療体制整備事業	873	1,203	▲ 330	資器材整備完了による減	
⑨	0	0	0		
⑩	0	0	0		
	細事業合計	12,394	12,510	▲ 116	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 甘粕 亜矢	係長 神山 徳彦	庶務 係 松永 祐樹
--------------------	----------	----------	------------

事業区課	戸塚区	地域振興課 課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	防犯力強化事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,085	0	300	0		3,785
令和3年度	4,715	0	0	0		4,715
増△減	△ 630	0	300	0	0	△ 930

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,560	4,033	4,895	4,085	4,085	4,085
	市債+一般財源	4,560	4,033	4,895	4,085	4,085	4,085
決算	事業費	3,407	3,793	4,520			
	市債+一般財源	3,407	3,793	4,520			

事業概要	啓発活動の実施及び防犯情報を区民に提供することで、区民の防犯に対する意識の向上及び体感治安の改善を目指します。また、地域の防犯活動に対する支援を行います。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	犯罪のないまちづくり事業助成金交付要綱、地域防犯活動拠点設置要綱							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「安全・安心を実感できるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	令和2年の戸塚区における刑法犯罪認知件数は前年対比で減少しておりますが、特殊詐欺を含めて市内他区と比較しても高い水準にあります。区民意識調査の結果から多くの区民が防犯対策は重要と考えているため、地域における防犯活動の支援を継続的に行っていく必要があります。併せて実効性のある啓発活動を継続して実施していくことで、区民が各々の実情に即した対策を行えるよう、防犯行動の促進を図ることが求められています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県警察「犯罪統計」 戸塚区内刑法犯罪認知件数：H28年 1,327件、H29年 1,202件、H30年 1,142件、R元年 1,180件、R2年 914件 戸塚区内特殊詐欺認知件数：H28年 22件、H29年 47件、H30年 116件、R元年 94件、R2年 62件</li> <li>令和元年度戸塚区民意調査 「地域の催しや集いなどに参加したことがありますか」ある…46.5% 「どのような催しや集いに参加しましたか」防犯に関する活動…9.5% (186人/1,958人(複数回答可)) 「(重要度) 防犯対策」について「重要である」または「やや重要である」…89.2%</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
迷惑電話防止機器購入補助金応募件数	単位	目標	-	-	150	150	150	150
	件	実績	-	-				
犯罪のないまちづくり事業補助金応募団体数	単位	目標	40	40	40	40	40	40
	団体	実績	40	35				
わんわんパトロール新規登録数	単位	目標	50	50	50	50	50	50
	頭	実績	115	45				
事業スケジュール	平成17年度～ 犯罪のない街づくり事業、子ども安全推進事業、安心・安全推進連絡協議会事業開始 平成29年度～ 小学1年生対象防犯ブザー配付事業、わんわんパトロール隊事業開始。明るい街角づくり事業廃止							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 特殊詐欺撲滅啓発事業	700	1,500	▲ 800	事業実施方法の見直しに伴う減
	② 地域の防犯活動応援事業	2,060	2,060	0	前年度同額
	③ 子ども安全推進事業	1,205	1,035	170	実績に伴う増
	④ 戸塚区まちの安心・安全推進連絡協議会	120	120	0	前年度同額
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	4,085	4,715	▲ 630	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 情野 純平	地域活動支援 係 青木 拓海
--------------------	----------	----------	----------------

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	交通安全・放置自転車対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	6,053	0	0	0		6,053
令和3年度	5,815	0	0	0		5,815
増△減	238	0	0	0	0	238

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	5,134	5,171	6,035	6,053	6,053	6,053
	市債+一般財源	5,134	5,171	6,035	6,053	6,053	6,053
決算	事業費	4,335	4,538	2,908			
	市債+一般財源	4,335	4,538	2,908			

事業概要	戸塚区内の交通事故の減少及び交通事故死ゼロ、放置自転車等のないきれいなまちを目指し、関係機関と協働し、交通安全・放置自転車対策事業を展開します。								
事業開始年度	平成17年								
根拠法令・方針決裁等	横浜市自転車等の放置防止に関する条例、戸塚区自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付要綱、戸塚区スクールゾーン安全対策協議会助成金交付要綱								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「安全・安心を実感できるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	<p>(交通安全対策) 戸塚区では国道一号線等の主要道路が通っていることや細い道が多数あることから、交通事故の件数も市内上位となっています。通学路の安全確保などのハード面の整備だけでなく、区民の交通安全意識の啓発など、ソフト面での対策も必要です。</p> <p>(放置自転車対策) 依然として戸塚駅・東戸塚駅周辺に放置自転車が見られることから、引き続き駐輪指導や自転車適正利用の啓発活動が必要です。</p>								
根拠・データ等	<p>(交通安全対策) 交通事故数推移 平成30年度629件 令和元年度616件 令和2年度542件</p> <p>(放置自転車対策) 放置自転車数推移 戸塚駅 平成30年度87台 令和元年度94台 令和2年度93台 東戸塚駅 平成30年度80台 令和元年度100台 令和2年度15台</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
区内交通事故数	単位	目標	650	580	520	500	480	460	440
	件	実績	616.0	542.0					
	単位	目標							
	実績								
	単位	目標							
	実績								
事業スケジュール	平成17年度 事業開始 平成31年度 放置自転車台数の減少（一日の放置台数100台以下）により自転車等放置防止推進協議会への助成終了								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 交通安全啓発事業	1,060	820	240	啓発手法の見直しによる増
	② スクールゾーン等対策事業	4,646	4,616	30	令和4度更新対象の電柱巻数による増
	③ 放置自転車対策事業	347	379	▲32	消耗品購入量の見直しによる減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	6,053	5,815	238	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 有泉 廣隆	地域活動 係 大橋 菜々子
--------------------	----------	----------	---------------

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1	目		
事業名称	区民活動支援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	9,057	0	0	0		9,057
令和3年度	8,933	0	0	0		8,933
増△減	124	0	0	0	0	124

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	8,212	7,988	7,972	8,000	8,000	8,000
	市債+一般財源	8,212	7,988	7,972	8,000	8,000	8,000
決算	事業費	7,639	7,241	6,931			
	市債+一般財源	7,639	7,241	6,931			

事業概要	地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指します。								
事業開始年度	平成16年度								
根拠法令・方針決裁等	教育基本法、社会教育法、横浜市市民協働条例、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、第3次横浜生涯学習基本構想、とつか区民活動センター事業実施要綱 及び とつか区民の夢プロジェクト補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「人と人がつながるまちづくり」								
事業目的・効果 (必要性)	<p>【目的】地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指します。</p> <p>【効果】</p> <p>1 とつか区民の夢プロジェクト補助金事業 戸塚区内の市民活動を活性化し、地域課題の解決に向けて区民が自主的に取り組んでいける社会の実現に向けた一助となります。また、団体の活動を通して、地域の魅力向上や、課題の解決につながります。</p> <p>2 読書活動推進事業 地域の特性を生かし、区民の皆様が身近な場所でもっと読書活動に親しめる環境をつくり出します。</p> <p>3 とつか区民活動センター運営事業 相談・コーディネート・情報提供・場の提供等により、活動団体を支援することや、情報コーナーの運営、戸塚区総合庁舎周辺を会場とした「とつかお結び広場」の開催などを通じ、活動者の横の連携が生まれ、「つながり」を創り出すことができます。</p>								
根拠・データ等	令和2年度 横浜市市民意識調査、令和元年度 戸塚区区民意識調査								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
補助金助成件数	単位	目標	-	-	5	8	8	10	10
	件	実績	8	2					
戸塚読書チャンネル視聴回数 (累積)	単位	目標	-	-	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600
		実績	-	データなし					
センター利用者数	単位	目標	30,000	30,000	20,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	人	実績	29,162	10,526					
事業スケジュール	・平成21年度～令和4年度：（「とつか区民活動センター」を委託団体と協働で運営）								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① とつか区民の夢プロジェクト補助金事業	1,550	1,550	0	前年度同額
	② 読書活動推進事業	500	576	▲ 76	過年度新規事業の書籍配架分の減
	③ とつか区民活動センター運営事業	7,007	6,807	200	実績に伴う増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	9,057	8,933	124	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 榊嶋 健行	地域活動 係 弘光 生磨
--------------------	----------	----------	--------------

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	地域文化振興事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,500	0	0	0		1,500
令和3年度	1,500	0	0	0		1,500
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,300	1,300	1,500			
	市債+一般財源	1,300	1,300	1,500	1,500	1,500	1,500
決算	事業費	1,564	1,690	877			
	市債+一般財源	1,564	1,690	877			

事業概要	区民に「文化芸術に触れる機会」を提供し、文化活動の関心を高めるとともに区内の文化活動団体等への活動支援を行い、地域の文化振興を図ります。								
事業開始年度	平成18年度								
根拠法令・方針決裁等	戸塚っ子いきいきアートフェスティバル補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	コロナ禍で従来と比べて文化芸術に触れる機会が減少しているなか、令和4年度には戸塚区民文化センターの大規模改修も予定されており、区として地域の文化振興を図る重要性が高まっています。そこで、感染症対策等を講じながら、区民に「文化芸術に触れる機会」を提供し、文化活動の関心を高めるとともに、区内の文化活動団体等への活動支援を行い、地域の文化振興を図ります。								
根拠・データ等	令和2年度横浜市市民意識調査								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
戸塚っ子いきいきアートフェスティバル入場者数	単位	目標	-	-	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	人	実績	3,982	2,635					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	平成18年度：戸塚っ子いきいきアートフェスティバル事業を開始 令和元年度：音祭り共催事業を実施 令和3年度：Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021応援事業を実施								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	戸塚っ子いきいきアートフェスティバル支援事業	1,000	1,000	0
②	文化振興プログラム推進事業(音祭り共催事業)	500	0	500	前年度同額
③	Dance Dance Dance@YOKOHAMA応援事業	0	500	▲500	事業終了による減
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	1,500	1,500	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	樺嶋 健行	岡部 遥

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつか音楽の街づくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,200	0	0	0		3,200
令和3年度	3,700	0	0	0		3,700
増△減	△ 500	0	0	0	0	△ 500

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	0	3,200	3,700			
	市債+一般財源	3,000	3,200	3,700	3,100	3,100	3,100
決算	事業費	2,964	2,668	2,667			
	市債+一般財源	2,964	2,668	2,667			

事業概要	区民の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親んでもらう機会や場所を提供し、音楽の街とつかを広くアピールします。								
事業開始年度	平成26年度								
根拠法令・方針決裁等	とつか音楽の街づくり事業とつかストリートライブ運営補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	戸塚区は、市内初の区民オーケストラ、区民の実行委員によるゴスペルコンサート、戸塚に縁のある歌を唄うシンガーソングライターや商店街と連携した路上ライブなど音楽活動が区民に浸透しています。そこで、区内の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親んでもらう機会や場所を提供し、音楽を中心に地域のつながりを深め、地域の活性化を図ることを目的に事業を実施します。								
根拠・データ等	横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方、区民広間コンサートアンケート								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
区民広間コンサート参加者数	単位	目標	-	-	400	500	1200	2000	2000
	人	実績	1,650	0					
とつかストリートライブ出演者登録団体数	単位	目標	-	-	85	90	95	100	105
	団体	実績	45	55					
音楽交流ひろば参加者数	単位	目標	-	-	15	15	15	15	
	人	実績	-	-					
事業スケジュール	平成26年度 区民広間コンサート、ストリートライブ事業開始 平成28年度 とつかストリートライブにおいて、夏フェスとして戸塚はしご酒ライブ、春フェスとしてとつかソングコンテストを開始 令和3年度 音楽交流ひろば事業開始								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 区民広間コンサート	350	150	200	事業拡大による増
	② とつかストリートライブ	2,300	3,000	▲ 700	WEB活用による減
	③ 音楽交流ひろば	550	550	0	前年度同額
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		3,200	3,700	▲ 500	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	権嶋 健行	岡部 遥

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	スポーツ・レクリエーション進行事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,409	0	0	0		1,409
令和3年度	1,997	0	0	0		1,997
増△減	△ 588	0	0	0	0	△ 588

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,060	2,652	1,114	1,409	1,409	1,409
	市債+一般財源	2,060	2,652	1,114	1,409	1,409	1,409
決算	事業費	1,871	2,042	520			
	市債+一般財源	1,871	2,042	520			

事業概要	戸塚区スポーツ協会事業への支援や身近な場所でスポーツに親しむ機会を提供し、日常生活における生涯スポーツやレクリエーションを振興します。							
事業開始年度	平成7年度							
根拠法令・方針決裁等	スポーツ基本法、戸塚区スポーツ協会補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機としたスポーツに対する関心の高まりを生かし、スポーツを親しみ、始めるきっかけとなる機会を提供します。 また、戸塚区の特徴としてソフトボール・サッカー・ラグビーと3種目の女子スポーツチームが区内に拠点を置いています。広報媒体等を中心に広く活動内容や魅力を発信し、普及活動を支援するとともに、体験教室や応援企画など目標や夢に向かって頑張る選手を応援する機会を通じて、区民の心身の活力増進・地域の活気づくりに寄与します。							
根拠・データ等	令和元年度区民意識調査：「スポーツに親しめる環境」についての満足度 満足・・・2.8% やや満足・・・13.2% どちらともいえない・・・47.0% やや不満・・・7.6% 不満・・・4.4% わからない、無回答・・・25%							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
スポーツ協会事業参加者数	単位	目標	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
	人	実績	27,954	11,092				
女子スポーツ普及応援企画参加人数	単位	目標	100	100	100	50	50	50
	人	実績	120	0				
オリパラ協議体験会参加者数	単位	目標	-	-	-	100		
	人	実績	-	-				
事業スケジュール	平成30年度：葛西紀明氏講演会 令和元年度：中畑清氏講演会開催 令和3年度：朝原宣治氏講演会開催 令和4年度：競技体験イベント開催							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区民スポーツ振興事業	500	500	0	
	②	トップスポーツチーム応援事業	409	1,018	▲ 609	周知方法の効率化による減
	③	オリンピック・パラリンピック競技体験事業	500	0	500	新規事業
	④	オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	0	479	▲ 479	事業終了による減
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
細事業合計			1,409	1,997	▲ 588	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	有泉 廣隆	田中 芳晴



事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	青少年健全育成事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,475	0	0	0		1,475
令和3年度	1,565	0	0	0		1,565
増△減	△ 90	0	0	0	0	△ 90

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,849	1,849	1,610	1,475	1,475	1,475
	市債+一般財源	1,849	1,849	1,610	1,475	1,475	1,475
決算	事業費	1,536	1,632	389			
	市債+一般財源	1,536	1,632	389			

事業概要	地域の特性を活かし、青少年の健全育成に寄与する活動を行っている地域団体を支援するとともに、青少年指導員や関係機関と連携した事業を展開することで、青少年の健全育成を推進します。								
事業開始年度	平成13年度								
根拠法令・方針決裁等	地域で育む青少年健全育成事業補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策 「人と人がつながるまちづくり」、「安全・安心を実感できるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	<p>少子化や就労形態等の社会的な変化により、家族や周りの大人、友人とのコミュニケーションが不足した青少年が増加しています。令和元年度戸塚区区民意識調査の結果では、地域のイベント等に参加している区民が4割程度にとどまっている一方で、平成29年度に実施した同調査では、地域活動の運営に積極的に関わりたい、または機会があれば関わってもよいという区民が6割を超える結果となりました。最近では、新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が抑制され、青少年を中心とした多世代間の交流はさらに希薄化しつつあるため、地域活動への支援は重要な課題となっています。</p> <p>このような現状を踏まえ、地域団体と積極的に連携し、地域活動に参加できる機会の充実を図ることで、青少年の健全育成に寄与する持続可能な事業展開に取り組む必要があります。</p> <p>本事業では、各地域で自主的に活動する団体への支援を充実させることに加え、地域と協働して取り組める事業を実施することで、青少年健全育成の促進につなげていきます。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度戸塚区区民意識調査(年代別 地域の催しや集いなどに、1年以内に参加したことがあるか) &lt;調査結果&gt; 10代 「ある」41.4% 「ない」58.6%</li> <li>平成29年度戸塚区区民意識調査(年代別 地域の活動に運営側として関わることについて) &lt;調査結果&gt; 10代 「地域の一員として積極的に関わりたい」3.7% 「機会があれば関わってもよい」57.4% 「できれば関わりたい」16.7% 「関わりたい」5.6% 「分からない」14.8% 「無回答」1.9%</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
補助金交付団体数	単位	目標	9	10	10	10	11	12	
	団体	実績	9	6					
青少年参加者数	単位	目標	40	40	40	40	45	50	60
	人	実績	31	0					
事業スケジュール	<p>平成24年度：青少年防災対応力強化研修を開始 平成28年度：地域で育む青少年健全育成事業補助金の交付を開始 令和2年度・令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域で育む青少年健全育成事業補助金の交付に係る検討会を書面にて開催し、青少年防災対応力強化研修は中止</p>								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 地域で育む青少年健全育成事業	1,060	1,060	0	前年度同額
	② 青少年防災対応力強化事業	415	505	▲ 90	事業実施内容の見直しによる減
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	1,475	1,565	▲ 90	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩崎 広之	係長 情野 純平	地域活動 係 鈴木 達郎
--------------------	----------	----------	--------------

# 令和 4年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1	目		
事業名称	子育て応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,488	0	0	0		4,488
令和3年度	4,281	0	0	0		4,281
増△減	207	0	0	0	0	207

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,941	4,571	4,496	4,528	4,528	4,528
決算	市債+一般財源	4,941	4,571	4,496	4,528	4,528	4,528
決算	事業費	4,461	4,439	4,467			
決算	市債+一般財源	4,461	4,439	4,467			

事業概要	育児に不安を抱え孤立化する養育者が増える中、妊娠婦から乳幼児とその養育者等の健康の保持増進、育児不安解消のために、地域子育て支援拠点「とっとの芽」と協働で子育て応援事業を実施します。								
事業開始年度	平成17年度								
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、共創推進の指針								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	戸塚区の令和2年中の出生数は2,043人で市内3番目であり、令和2年9月30日現在の年少人口は13.1%で市内2位となっています。少子化や地域のつながりの希薄化が進む中での子育ては、養育者を孤立化させる可能性があり、子どもの健やかな成長を妨げかねません。身近な地域等での教室開催を通じた養育者の仲間づくり、地域で子育て支援に関わる方のスキルアップやネットワーク作り、子育てをする当事者同士が相互に援助しあう関係づくりを進め、育児不安の軽減を図り、安心して子育てできる環境づくりを目的として事業を実施します。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸塚区出生数 市内3位【横浜市将来人口推計】</li> <li>&lt;実績推移&gt;元年度2204人、2年度 2043人、3年度2045人(見込)、4年度2031人(見込)</li> <li>年少人口(年少人口割合市内2位)【横浜市将来人口推計】</li> <li>&lt;実績推移&gt;元年度36,643人(13.0%)、2年度36,600人(13.1%)、3年度35,444人(見込)、4年度34,988人(見込)</li> <li>横浜市年少人口割合</li> <li>元年度452,233人(12.2%)、2年度446,873人(12.0%)、3年度445,301人(11.9%) (見込)、4年度440,627人(11.8%) (見込)</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
戸塚区年少人口	単位	目標	36,252	35,894	35,444	34,988	34,477	34,056	33,653
	人	実績	36,643	36,600					
	単位	目標							
	実績								
	単位	目標							
	実績								
事業スケジュール	平成17年度 事業開始 妊娠期支援事業(両親教室)・ひよこ会開始 平成25年度 地域子育て応援事業・子育て当事者ネットワーク事業をとっとの芽協働事業へ転換 平成29年度 育児支援講座(2歳児講座)開始 令和2年度 育児支援講座(親と子のコミュニケーション講座)開始								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 妊娠期支援事業	496	286	210	啓発クリアファイル作成による増
	② ひよこ会(赤ちゃん教室)	1,264	1,137	127	新設会場設置による増
	③ 育児支援講座	362	492	▲130	区配事業転換による増
	④ とっとの芽協働事業	2,366	2,366	0	前年度同額
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		4,488	4,281	207	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭支援担当
	上原 嘉明	舗 歙奈	山崎 友子

事業区課	戸塚区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	保育所地域子育てパワーアップ事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,867	0	0	48		2,819
令和3年度	2,668	0	0	48		2,620
増△減	199	0	0	0	0	199

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,722	2,696	2,696	2,668	2,668	2,668
	市債+一般財源	1,662	2,636	2,696	2,620	2,620	2,620
決算	事業費	1,707	2,263	2,470			
	市債+一般財源	1,662	2,222	2,470			

事業概要	市立・民間保育所を対象に研修等を実施し、区域全体としてより高い質の保育を提供します。市立保育所の機能活用により地域家庭への育児サービス等を提供する地域子育て支援を実施します。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	児童福祉法、子ども・子育て関連3法、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、横浜教育ビジョン2030							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策 「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	親族や近隣からの子育て支援が乏しい中、子育てに不安や負担感を持つ母親の増加が顕著であるため、子育て支援の資源としての保育所を地域により開放していく必要があります。現在は、保育所入所希望者の増加に加え、保育の質の向上や入所していない地域の児童への支援等についてもニーズが高まっています。そのため、施設の開放や交流保育などの実施により、未就学児のいる地域家庭への子育て支援の充実、育児不安の解消を図ります。また、保育の質の向上として、施設長や保育士向けの各種研修を実施します。							
根拠・データ等	戸塚区区内保育教育施設数 公立園4園、私立58園、認定こども園6園、家庭的保育施設1園 小規模保育施設23園 合計92園							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
保育教育施設入所5歳児	単位	目標	916	956	957	960	960	960
	人	実績	514.0	800.0				
	単位	目標						
	人	実績						
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成27年度：保育所文庫の全園設置							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	保育の質の向上(研修の実施)	213	213	0
②	交流保育	560	560	0	前年度同額
③	異物除去訓練用資機材貸出事業	185	0	185	新規事業
④	園庭開放、ランチ交流事業	575	575	0	前年度同額
⑤	保育所文庫貸出事業	320	320	0	前年度同額
⑥	保育所案内、保育・教育施設案内チラシの作成、書類配送委託	1,014	1,000	14	契約単価増見込み
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
	細事業合計	2,867	2,668	199	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 金森 裕一	係長 山本 真希	こども家庭支援担当 高野 幸一
--------------------	-------------	-------------	--------------------

事業区課	戸塚区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	子どもと家庭を支える虐待防止環境づくり事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,296	0	0	0		2,296
令和3年度	2,819	0	0	0		2,819
増△減	△ 523	0	0	0	0	△ 523

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	1,794	2,112	2,251	3,216	3,216	3,216
決算	1,794	2,112	2,251	3,216	3,216	3,216
市債+一般財源	1,794	2,112	2,251			
市債+一般財源	1,969	2,089	2,304			
市債+一般財源	1,969	2,089	2,304			

事業概要	横浜市要保護児童対策地域協議会の戸塚区実務者会議（戸塚区子育てサポート連絡会）の構成委員となっている関係機関や地域と連携を強化するとともに、育児不安を抱える養育者への支援を行うなど、児童虐待予防啓発、早期発見及び対応に取組みます。					
事業開始年度	平成18年度					
根拠法令・方針決裁等	児童の権利に関する条約、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、横浜市子供を虐待から守る条例、横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議設置・運営要綱、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律					
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」					

事業目的・効果 (必要性)	<p>横浜市における令和2年度の児童虐待の対応件数は12,554件で過去最高となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により虐待の潜在化が心配されましたが例年通り件数は伸びており、社会の関心も大変高まっています。戸塚区では、未就学児の対応が高い割合を占めつつも、学校からの通告・相談は増加傾向です。関係機関などの支援体制を強化し、地域の虐待に対する意識を高め、育児不安のある児童の養育者の負担を軽減するなど、子どもを虐待から守る環境づくりを進める必要があります。</p> <p>また、子どもの権利擁護の観点から、養育者だけでなく、子ども自身が自分を大切にできるような相談支援や啓発の推進が求められます。</p> <p>更に、女性福祉相談が取り扱うDVや離婚、別居など家族関係の破綻が児童や養育者に与える心理的影響は大きく、女性の権利擁護や児童虐待予防の見地から支援を強化する必要があります。</p>					
------------------	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市における児童虐待の対応状況 ＜実績推移＞元年度 10,998件、2年度 12,554件、3年度14,330件（見込）、4年度16,357件（見込）</li> <li>横浜市における女性福祉相談の件数（来所+電話）※区役所受付分 ＜実績推移＞元年度 6,512件、2年度 7,387件、3年度8,380件（見込）、4年度9,507件（見込）</li> </ul>					
---------	--	--	--	--	--	--

事業指標		年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
サポート連絡会地区別会議 (参加者数)	単位	目標	120	120	120	120	120	120	120
	人	実績	123	77					
個別カウンセリング (利用延べ人員)	単位	目標	50	50	50	50	50	50	50
	人	実績	57	59					
女性と子どものための法律相談 (相談実人員)	単位	目標		18	18	18	18	18	18
	人	実績		18					

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度：事業開始</li> <li>令和元年度：子育てサポート連絡会地区別会議 開始</li> <li>令和2年度：女性と子どものための法律相談 開始</li> <li>令和2年度：寄り添い型生活支援事業送迎強化（とつか秋葉塾実施分） 開始</li> </ul>					
----------	---	--	--	--	--	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 虐待予防普及啓発	1,325	1,488	▲ 163	事務費見直しによる減
	② 養育者支援	971	971	0	前年同
	③ 寄り添い型生活支援事業送迎強化	0	360	▲ 360	区配予算化による減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		2,296	2,819	▲ 523	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子どもの権利擁護担当
	上原 嘉明	天城 良子	係 川口 佳子

事業区課	戸塚区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」運営事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	8,558	0	0	0		8,558
令和3年度	8,558	0	0	0		8,558
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	6,402	8,558	9,133	8,558	8,558	8,558
	市債+一般財源	6,402	8,558	9,133			
決算	事業費	6,197	8,528	9,102			
	市債+一般財源	6,197	8,528	9,102			

事業概要	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」において、一時託児の実施と地域の子育て情報の提供、ベビーカーレンタル等を行います。								
事業開始年度	平成24年度								
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法、共創推進の指針								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」								
事業目的・効果(必要性)	戸塚区総合庁舎で転入出等の届出を行う際には、複数の課における手続きなどに多くの時間を要する場合があります。保護者の利便性向上とともに、来所した子どもの安全性の観点からも、一時託児の実施が求められています。また、庁舎は駅直結で利便性が高く、区内各エリアからの来庁者が見込まれることから、横浜市版子育て世代包括支援センターの入口として、利用者のニーズを的確に受け止め、妊娠期から子育ての情報提供などをはじめとした総合的な子育て支援を実施することが求められています。これらの子育て支援のニーズに対応するため、とつかの子育て応援ルーム「とことこ」を区役所内に設置し、一時託児・子育て情報の提供・ベビーカーレンタルを行います。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸塚区出生数 市内3位【横浜市将来人口推計】</li> <li>&lt;実績推移&gt;元年度2204人、2年度 2043人、3年度2045人(見込)、4年度2031人(見込)</li> <li>・年少人口(年少人口割合市内2位)【横浜市将来人口推計】</li> <li>&lt;実績推移&gt;元年度36,643人(13.0%)、2年度36,600人(13.1%)、3年度35,444人(見込)、4年度34,988人(見込)</li> <li>・横浜市年少人口割合</li> <li>元年度452,233人(12.2%)、2年度446,873人(12.0%)、3年度445,301人(11.9%)(見込)、4年度440,627人(11.8%)(見込)</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
一時託児	単位	目標	1900	1400	1900	2000	2100	2200	2300
	人	実績	2655	1639					
情報コーナー	単位	目標	15500	9000	10000	11000	12000	13000	14000
	人	実績	15080	8088					
ベビーカーレンタル	単位	目標	450	240	500	500	500	500	500
	人	実績	470	263					
事業スケジュール	平成24年度 事業開始 一時託児事業の実施(1歳以上) 平成28年度 ベビーカーレンタル事業開始 令和元年度 一時託児の拡大(0歳児・生後6か月からの託児受入れ) 令和2年度 レイアウト変更、託児スペースの拡大・整備								

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① とつかの子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	8,558	8,558	0	前年度同額
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		8,558	8,558	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭支援担当
	上原 嘉明	鋪 歆奈	御園 美徳

事業区課	戸塚区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつか健康パワーアップ事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,230	0	0	0		1,230
令和3年度	2,616	0	0	0		2,616
増△減	△ 1,386	0	0	0	0	△ 1,386

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	1,549	2,601	2,804	1,230	1,230	1,230
	市債+一般財源	1,549	2,601	2,804	1,230	1,230	1,230
決算	事業費	1,601	2,726	437			
	市債+一般財源	1,601	2,726	437			

事業概要	区民の健康寿命延伸を目指し、食・口腔・運動など様々な視点から、区民自らが自身の健康維持・増進について取り組むことができるよう、区民の健康づくり活動を支援します。							
事業開始年度	平成24年度							
根拠法令・方針決裁等	健康増進法、横浜市がん撲滅推進条例、第2期健康横浜21、横浜市食育推進計画、横浜市保健活動推進員規則、食生活等改善推進員養成及び活動支援事業実施要領、戸塚健康まつり補助金交付要綱、横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの推進役である保健活動推進員や食生活等改善推進員に対する、区民の認知度を高める仕組みが必要です。</li> <li>健康に関心のない人や日ごろ区役所の健康講座等に参加する機会のない人に対しても、健康づくりに親しむ機会が必要です。</li> <li>区民や関係多職種へオーラルフレイルに関する理解を深める口腔ケアの普及啓発の取組が必要です。</li> </ul>							
根拠・データ等	平成30年国民健康・栄養調査 平成28年度健康に関する市民意識調査							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
健康まつり参加者数	単位	目標	-	-	パネル展実施	400	400	400
	人	実績	9,095	未実施				
口の健康チェック参加者数	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	人	実績	28	中止				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成21年度 戸塚健康まつり実施開始							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	健康づくり事業	1,104	2,300	▲ 1,196	一部事業終了による減
	②	歯と口の健康づくり事業	126	316	▲ 190	一部事業終了による減
	③		0	0	0	
	細事業合計		1,230	2,616	▲ 1,386	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	松本 真佐人	尾崎 匡	吉田 智徳

事業区課	戸塚区	福祉保健課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費						
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目	
事業名称	子育て家庭のヘルスアップ事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,621	0	0	0		1,621
令和3年度	1,743	0	0	0		1,743
増△減	△122	0	0	0	0	△122

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算 事業費	2,039	2,294	2,676
市債+一般財源	2,039	2,294	2,676
決算 事業費	1,987	2,143	1,038
市債+一般財源	1,987	2,143	1,038

令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,621	1,621	1,621
1,621	1,621	1,621

事業概要	<p>乳幼児期は、生涯にわたる歯科保健活動の基盤が形成される時期であると共に、将来にわたる正しい食習慣の土台を築く大切な時期です。保護者の不安を解消し乳幼児期から正しい生活習慣を身につけられるよう、歯みがきや乳幼児食について発達段階に応じた支援を行いながら、家事や子育て優先で後回しにしがちな保護者に健康を見直す機会を提供するなど親子の健康づくりを支援します。</p> <p>また、生活習慣病は、健康寿命延伸を左右する大きな原因であり、その予防には、若年のときから対策を講じることが特に重要とされていますが、「働き・子育て世代」は、自分の健康を後回しにしがちです。そこで、小・中学生とその親を対象に、親子参加によるワークショップを戸塚区の医療系大学・関連団体と連携して開催し、健康について考えるきっかけづくりをし、生活習慣病の予防を啓発していきます。</p>							
事業開始年度	平成23年度							
根拠法令・方針決裁等	食育基本法、健康増進法、母子保健法、第2期健康横浜21「育ち・学びの世代の行動目標」、横浜市食育推進計画、横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策 「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在行われている「乳幼児歯科・食生活相談」「地域育児教室」事業等では、0歳児の保護者から歯みがきや離乳食の今後の進め方を知りたいというニーズがとても高く、楽しい雰囲気の中で、保護者にとってはじめての歯みがき・離乳食の不安を解消し、早期に乳幼児のう蝕予防や食育に関する知識や技術を学ぶ機会を設ける必要があります。</li> <li>R1年度乳幼児健診において、1歳6か月児健診の個別相談(栄養)は215件(受診者の9.3%)で4か月児健診(3.0%)3歳児健診(4.6%)に比べて多くなっています。これは離乳食から幼児食への切り替えがうまくいかないなど不安が大きいことと表れ、健診も間隔があいてしまうこの時期に幼児食の進め方に対するフォローが必要です。</li> <li>親子参加によるワークショップを開催することで、子どもが健康について考えるきっかけを作るとともに、「働き・子育て世代」の親にも健康について振り返る機会を提供し、生活習慣病の予防を意識付けすることにより、将来に向けた健康寿命を伸ばし、医療費の削減を図ります。</li> </ul>							
根拠・データ等	乳幼児歯科相談実施報告							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
はじめての歯みがき教室参加者数	単位	目標	465	465	246	216	216	216
	組	実績	298	93				
おいしいおはなしよみかせ参加者数	単位	目標	-	26	26	26	26	26
	組	実績	-	8				
幼児の食育教室実施回数	単位	目標	-	100	80	80	80	80
	組	実績	-	14				
事業スケジュール	平成29年度 大学と連携した親子健康づくり事業開始 親子のクッキングと歯みがきレッスンの教室対象者・内容変更拡充し、はじめての歯みがき教室開始 令和2年度 おいしいおはなしよみかせと幼児の食育教室開始							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	はじめての歯みがき教室	799	1,029	▲230	前年度実績に基づく減
	②	おいしいおはなしよみかせ	136	136	0	増減なし
	③	幼児の食育教室	263	91	172	食生活啓発による増
	④	大学と連携した親子健康づくり事業	423	487	▲64	事業内容の変更による減
細事業合計		1,621	1,743	▲122		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	松本 真佐人	尾崎 匡	吉田 智徳

事業区課	戸塚区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,477	0	0	0		4,477
令和3年度	5,651	0	0	0		5,651
増△減	△ 1,174	0	0	0	0	△ 1,174

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,341	4,822	6,647	3,237	3,237	6,381
算	市債＋一般財源	4,341	4,822	6,647	3,237	3,237	6,381
決算	事業費	2,337	4,339	3,507			
算	市債＋一般財源	2,337	4,339	3,507			

事業概要	令和3年度から令和7年度までの5か年を計画期間とする第4期とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）を推進することで、誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現を目指します。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	社会福祉法第107条、とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）策定・推進委員会運営要綱、とつかハートプラン補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 基本目標「こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか」							
事業目的・効果（必要性）	○少子高齢化や人口減少の進展、世帯の小規模化等、社会状況が大きく変化している中で、地域では様々な課題が複雑・多様化しています。また、複数の問題を同時に抱えるなどの「複合的な課題」や、既存の支援制度では対応が難しい「制度の狭間の問題」など、支援のニーズが多様化しています。 ○複雑・多様化する課題への確に対応するためには、これまで以上に地域の住民や団体、事業者、区社協、地域ケアプラザ、区役所等が地域課題を共有し、課題解決に向けた検討や具体的取組を協働により進める必要があります。							
根拠・データ等	横浜市将来人口推計、国勢調査、健康横浜21中間評価報告書、横浜市保健統計年報、横浜市衛生年報、横浜市高齢者実態調査、健康に関する市民意識調査、令和元年度戸塚区市民意識調査、戸塚区要介護・要支援認定者数、戸塚区障害者手帳所持者数、戸塚区就学前児童数、戸塚区生活困窮者自立支援制度の相談数							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
地域内に気軽に話や相談ができる人がいる割合	単位	目標	—	—	—	58.0	—	—
	%	実績	55.6	—	—	—	—	—
とつかハートプランについて知っている人の割合	単位	目標	—	—	—	10.0%	—	—
	%	実績	6.2	—	—	—	—	—
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	令和3年度 第4期とつかハートプラン策定（計画期間：令和3年度から令和7年度） 令和5年度 第4期とつかハートプラン中間振り返り 令和6年度 第5期とつかハートプラン骨子取りまとめ 令和7年度 第5期とつかハートプラン策定（計画期間：令和8年度から令和12年度）							

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	① 取組推進事業	3,930	986	2,944	新規事業による増
	② 普及啓発事業	547	1,521	▲ 974	事業終了による減
	③ 第4期とつかハートプラン策定事業	0	3,144	▲ 3,144	事業終了による減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		4,477	5,651	▲ 1,174	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当
	松本 真佐人	渡辺 光	宮内 裕貴



# 令和 4 年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目			
事業名称	～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,029	0	0	0		1,029
令和3年度	1,029	0	0	0		1,029
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	983	992	1,001	1,029	1,029	1,029
	市債+一般財源	983	992	1,001	1,029	1,029	1,029
決算	事業費	982	991	1,000			
	市債+一般財源	982	991	1,000			

事業概要	精神障害者の地域生活を支援するため、身近な地域ケアプラザで精神障害者向けの活動支援と普及啓発を行います。								
事業開始年度	平成19年度								
根拠法令・方針決裁等	障害者基本法、障害者総合支援法、精神保健および精神障害者の福祉に関する法律、第4期横浜市地域福祉保健計画								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」								
事業目的・効果 (必要性)	精神障害や疾患がある方は年々増え続けており、戸塚区においては精神保健福祉手帳所持者数3,256人(平成23年度に対して約200%)、自立支援医療(精神通院医療)利用者数5,672人(平成23年度に対して約160%)と、ともに市内第1位となっています。(令和3年3月末現在)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築を促進することが求められている中で、地域移行・地域定着の促進が全市的な課題となっています。また、いわゆるひきこもりや8050問題などメンタルヘルズに課題がある人の支援や居場所作りが課題となっています。当事者の地域生活を支援していくために、関係機関との連携を図りながら、支援体制の強化を協働で進めていくこと、また当事者や家族が安心して地域で生活していくため、障害の普及啓発を図り地域への理解を深めることが重要です。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉手帳所持者数 3,256人(令和3年3月現在)</li> <li>自立支援医療(精神通院医療)利用者数 5,672人(令和3年3月現在)</li> <li>ひきこもり状態にある方の推計人数 約15,000人(15～39才)・約12,000人(40～64才) (平成29年度横浜市子ども・若者実態調査/市民生活実態調査)</li> </ul>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
あつたまり場参加人数	単位	目標	350	200	210	220	230	240	250
	人	実績	432	253					
普及啓発事業参加人数	単位	目標	200	200	200	200	200	200	200
	人	実績	118	196					
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度：事業開始(区内の地域ケアプラザ6か所を実施)</li> <li>平成26年度：区内全ての地域ケアプラザに拡大 (当時10か所。平成29年度開館となった深谷俣野地域ケアプラザは平成30年度より実施)</li> </ul>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① ～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業	1,029	1,029	0	前年同
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		1,029	1,029	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	山崎 三七子	高橋 明子	那須 亮子

事業区課	戸塚区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	戸塚区地域包括ケアシステム構築推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	3,533	0	0	0		3,533
令和3年度	2,700	0	0	0		2,700
増△減	833	0	0	0	0	833

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,072	3,161	3,287	2,700	2,700	2,700
	市債＋一般財源	2,072	3,161	3,287	2,700	2,700	2,700
決算	事業費	2,154	3,119	3,082			
	市債＋一般財源	2,154	3,119	3,082			

事業概要	年齢を重ねても地域で自分らしい日常生活を送れるよう、様々な取組を有機的につなげながら、地域包括ケアシステムの構築を推進していきます。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	戸塚区地域ネットワーク訪問事業実施要綱、戸塚区地域ネットワーク見守り事業実施要綱、横浜市認知症高齢者地域支援事業実施要綱、第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画、横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた戸塚区行動指針							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた施策「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<p>戸塚区においても年々高齢化率が上昇し、令和3年3月末現在、高齢者人口は72,173人で高齢化率は25.6%となっています。それに伴い、要介護認定者(13,167人)、認知症高齢者(6,728人)、ひとり暮らし高齢者(19,786世帯)や高齢者のみの世帯(15,666)も増加しています。(※数値はいずれも令和3年3月末現在)</p> <p>今後、いわゆる「団塊の世代」が75歳となる2025年には、平成27年(2015年)と比較して要介護認定者は1.8倍、認知症高齢者は1.6倍となり、高齢者の5人に1人が認知症となることが予想されていることから、支援や見守りを必要とする高齢者は今後ますます増加します。</p> <p>そのため、身近な地域で「見守り・声かけ」を中心とした活動が、地域包括支援センターや事業者等とのネットワークの中で行われるなど、地域で互いに支え合える仕組みである「地域包括ケアシステム」の構築を推進することが喫緊の課題となっています。</p> <p>また、認知症になっても尊厳と希望をもって生きることができるよう、認知症理解の促進や本人発信など、社会参加への支援が求められています。</p> <p>本事業は、各取組を通じて、高齢者等が地域で孤立せず安心して暮らし続けられるよう、地域社会での助け合い・支え合いのできる仕組みづくりを進め、「地域包括ケアシステム」の構築を推進することを目的とします。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸塚区65歳以上の高齢者数【横浜市住民基本台帳データ・横浜市将来人口推計(2015年推計)】</li> <li>&lt;実績推移&gt;令和元年度71,479人、2年度72,173人、3年度72,969人(見込)、4年度73,305人(見込)</li> <li>・戸塚区要介護認定者【横浜市介護保険データ】</li> <li>&lt;実績推移&gt;令和元年度12,707人、2年度13,167人、3年度13,600人(見込)、4年度14,100人(見込)</li> <li>・戸塚区認知症高齢者数【横浜市介護保険データ】</li> <li>&lt;実績推移&gt;令和元年度6,688人、2年度6,728人、3年度6,770人(見込)、4年度6,810人(見込)</li> <li>・戸塚区ひとり暮らし高齢者数【横浜市介護保険データ】</li> <li>&lt;実績推移&gt;令和元年度19,176世帯、2年度19,786世帯、3年度20,400世帯(見込)、4年度21,000世帯(見込)</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ネットワーク訪問実績延数	単位	目標	9000	9000	9000	9000	9000	9000
	件	実績	7226	8539				
みまもりネット協力事業者登録数	単位	目標	380	385	390	395	400	410
	者	実績	383	387				
みつけてネット登録者数	単位	目標	300	310	320	330	340	360
	者	実績	313	298				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度：事業開始</li> <li>・平成29年度：「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた戸塚区行動指針」を策定</li> <li>・令和2年度：「戸塚区高齢者見守りネットワーク事業」から「戸塚区地域包括ケアシステム構築推進事業」に名称変更</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 地域ネットワーク訪問事業	2,162	858	1,304	アンケート実施による増
	② 地域ネットワーク見守り事業	893	1,038	▲145	啓発方法見直しによる減
	③ 認知症高齢者等あんしんネットワーク事業	328	704	▲376	局予算の活用による減
	④ 地域包括ケア普及啓発事業(旧：地域ケア会議推進事業)	150	100	50	事業拡充に伴う増
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	3,533	2,700	833	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害係
	山崎 三七子	梅田 直矢	中川 葉月

事業区課	戸塚区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	食と暮らしの安全・安心応援事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,133	0	0	0		1,133
令和3年度	1,246	0	0	0		1,246
増△減	△ 113	0	0	0	0	△ 113

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	517	1,163	1,119	893	893	893
	市債+一般財源	517	1,163	1,119	893	893	893
決算	事業費	522	1,079	899			
	市債+一般財源	522	1,079	899			

事業概要	食中毒・感染症・薬物乱用による健康被害の防止、ペットの適正飼育の推進、飼い主のいない猫対策等により、区民の安全で快適な生活を確保します。							
事業開始年度	平成19年							
根拠法令・方針決裁等	食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市猫の適正飼育ガイドライン 等							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「安全・安心を実感できるまちづくり」							
事業目的・効果(必要性)	<p>市内では食肉や魚介類の寄生虫（アニサキス）による食中毒が依然発生しており、戸塚区内においても家庭を原因とする食中毒が発生しています〔令和2年：5件〕。健康危害の未然防止のために、業者や区民に向けた、継続的な情報提供と予防啓発が求められています。新型コロナウイルス感染症の影響では、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店等が増えており、テイクアウト等による食中毒予防について、業者と消費者の双方に向けた啓発が必要となっています。</p> <p>また、飼い主のいない猫対策やハチ駆除について強い区民要望があり、解決に向けたサポートが求められています。さらに近年の自然災害発生を背景に災害時におけるペットとの同行避難に区民の関心は高まっていますが、各地域防災拠点での取組状況に差異が見られており、飼い主への啓発も必要となっています。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内食中毒発生件数（平成30年：52件、令和元年度：50件、令和2年：37件）</li> <li>食の安全に関するアンケート（令和2年度）</li> <li>市内犬・猫等に関する苦情・相談件数（平成30年度：5,825件、令和元年度：5,589件、令和2年度：6,680件）</li> <li>市内ハチ苦情・相談件数（平成30年度：5,668件、令和元年度：4,237件、令和2年度：3,606件）</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
戸塚区内食中毒件数(暦年)	単位	目標	3	3	3	3	3	3
	件	実績	2	5				
犬・猫等に関する苦情・相談件数	単位	目標	450	500	500	500	500	500
	件	実績	499	542				
ハチ苦情・相談件数	単位	目標	500	500	500	500	500	500
	件	実績	365	370				
事業スケジュール	平成19年度：事業開始 令和元年度：薬物乱用防止リーフレット作成（横浜薬科大学協力） 令和2年度：食中毒予防啓発物資作成（クリアファイル） 令和3年度：同行ペット避難支援グッズ配布							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 食中毒・感染症・薬物乱用防止事業	509	433	76	備品更新による増
	② ハチ対策及び動物適正飼育啓発事業	624	813	▲ 189	整備完了に伴う減
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	1,133	1,246	▲ 113	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	川崎俊明	係長	内田 裕美	食品衛生 係	小野澤 みのり
--------------------	----	------	----	-------	--------	---------

(様式7)

## 事業計画書目次

[ 戸塚区 ]

3款 2項 1目 統合事務事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	統合事務費	31,462	31,297	31,432	31,297	30	0	
2	広報よこはま発行事業	10,161	8,865	10,135	8,839	26	26	
3	市民相談事業	1,944	1,944	1,894	1,894	50	50	
4	クリーンタウン横浜事業	2,614	2,614	2,697	2,697	△ 83	△ 83	
5	消費生活推進員活動事業	1,040	1,040	1,040	1,040	0	0	
6	緊急時情報システム運用事業	690	690	740	740	△ 50	△ 50	
7	スポーツ推進委員支援費	2,351	2,351	3,661	3,661	△ 1,310	△ 1,310	
8	青少年指導員事業	4,320	4,320	3,016	3,016	1,304	1,304	
9	学校・家庭・地域連携事業	1,025	1,025	1,025	1,025	0	0	
10						0	0	
11						0	0	
12						0	0	
13						0	0	
14						0	0	
15						0	0	
16						0	0	
17						0	0	
	計	55,607	54,146	55,640	54,209	△ 33	△ 63	

# 令和 4年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費	統合事務費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名	統合事務費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	31,462			165		31,297
令和3年度	31,432			135		31,297
増△減	30	0	0	30	0	0

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市債+一般財源	30,818	31,309	31,087	31,297	31,297	31,297
決算	31,800	30,469	30,951			
市債+一般財源	31,485	30,124	30,816			

事業概要	各課で事務・運営を行っていくために必要な事務費を適正に執行します。	
事業開始年度	平成26年度	
根拠法令・方針決裁等		
運営方針等との関連		
事業目的・効果 (必要性)	区が主体的に各事業への予算配分や事業展開を図ること、地域ニーズを踏まえたきめ細かいサービス提供につなげるために各局から統合された事務経費です。	
事業スケジュール	平成26年度 「統合事務費」を自主企画事業費とは別に、区庁舎・区民利用施設管理費と一体で「一般管理費」として計上 令和元年度～ 統合事業費と合わせて「統合事務事業費」として計上	

(単位：千円)

細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
② 区政推進課	663	663	0	
③ 地域振興課	1,249	1,249	0	
④ 戸籍課	4,149	4,119	30	つり銭資金の増
⑤ 税務課	483	468	15	駐車場・有料道路使用料の増
⑥ 区会計室	0	0	0	
⑦ 福祉保健課	2,292	2,239	53	実績による増
⑧ 生活衛生課	0	0	0	
⑨ 高齢・障害支援課	3,295	3,251	44	実績による増
⑩ こども家庭支援課	2,628	2,628	0	
⑪ 生活支援課	8,875	8,875	0	
⑫ 保険年金課	0	0	0	
⑬ 土木事務所	210	210	0	
⑭ 総務課予算調整係	4,887	4,887	0	
⑮ 総務課統計選挙係	296	294	2	実績による増
細事業合計	31,462	31,432	30	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整
	甘粕 亜矢	馬上 征人	小室 浩正

事業区課	戸塚区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費	広聴広報相談費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	広報よこはま発行事業費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	10,161			1,296			8,865
令和3年度	10,135			1,296			8,839
増△減	26	0	0	0	0	0	26

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	10,032	9,764	10,135	10,171	10,171	10,171
	市債＋一般財源	8,808	8,540	8,839	8,947	8,947	8,947
決算	事業費	9,882	9,891	9,054			
	市債＋一般財源	8,597	8,605	7,812			

事業概要	区の基幹広報である広報よこはま戸塚区版の編集・発行をするとともに、ホームページやツイッターなどデジタル媒体とも連動し、多くの区民の皆様に「伝わる」広報事業を推進します。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「区民に信頼され親しまれる区役所づくり」							
事業目的・効果(必要性)	<p>地域ニーズや課題の多様化に伴い、行政の施策もきめ細かく多様なものとなっていますが、これらの行政情報を確実に伝えることが、区民一人ひとりが抱える課題解決に不可欠です。</p> <p>また、区民意識調査(令和元年度実施)によると、広報よこはま戸塚区版は、区の情報の入手先として区民の約6割の方が利用する重要な情報収集源となっています。広報よこはま戸塚区版1月号で行っている読者アンケートの結果等から声を拾い区民皆様の声を確実に編集方針に反映していくことが重要です。</p> <p>さらに、紙媒体を配布するのみでなく、ツイッターやウェブサイトなどデジタル媒体とも連動させ、より多くの方へ情報を発信する必要があります。</p>							
根拠・データ等	広報よこはま戸塚区版発行部数実績							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
広報よこはま発行部数	単位	目標		1,308,000	1,320,000	1,320,000	1,320,000	1,320,000
	部	実績	1,305,700	1,308,000				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>広報よこはま戸塚区版を市版とあわせ月1回発行します。</p> <p>発行区民対象の健康診断などをお知らせする、「戸塚福祉保健センターからのお知らせ(保存版)」を3月号に挟み込みます。</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	広報よこはま発行事業費	10,161	10,135	26	発行部数の増による
	②		0	0	0	
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
細事業合計		10,161	10,135	26		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談
	武 規和	平山 慎一	三石 枝里子

事業区課	戸塚区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費	広聴広報相談費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	市民相談事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,944					1,944
令和3年度	1,894					1,894
増△減	50	0	0	0	0	50

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,859	1,877	1,894	1,894	1,894	1,894
市債+一般財源	1,859	1,877	1,894	1,894	1,894	1,894
決算	1,852	1,877	1,888			
市債+一般財源	1,852	1,877	1,888			

事業概要	区民の皆様からの要望、陳情などの広聴事業により市政への反映、多岐にわたる区民相談に的確に対応します。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「区民に信頼され親しまれる区役所づくり」							
事業目的・効果 (必要性)	近年、区民の皆様からの要望・相談が多様化複雑化しています。区役所職員では解決できない内容について、専門家への相談を通し、区民の皆様のお悩みを解決する糸口をつかむ機会を提供する必要があります。							
根拠・データ等	法律相談回数実績							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
法律相談回数	単位	目標	71	72	71	74	72	72
	回	実績	71	72				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	・ 通年実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 市民相談事業	1,944	1,894	50	相談実施日の増
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		1,944	1,894	50	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	武 規和	平山 慎一	広報相談 青山 千春

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費	地域コミュニティ費	1	目		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	クリーンタウン横浜事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,614					2,614
令和3年度	2,697					2,697
増△減	△ 83	0	0	0	0	△ 83

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,413	2,592	2,592	2,564	2,564	2,564
	市債+一般財源	2,413	2,592	2,592	2,564	2,564	2,564
決算	事業費	1,503	2,603	2,008			
	市債+一般財源	1,503	2,603	2,008			

事業概要	街の美化を推進するため、戸塚駅周辺において清掃を行うとともに、ポイ捨て防止の啓発を実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>横浜の街は、市民の皆様のマナーと美化活動の広がりにより清掃や綺麗さが維持されていますが、一方で公共空間においては、繁華街のごみやたばこの吸い殻等のポイ捨てなどの課題も残されています。</p> <p>そこで、戸塚区では、地区内の歩道の清掃とたばこのポイ捨て禁止の啓発のため、週に2回戸塚駅周辺の歩道清掃委託を実施します。</p> <p>また、タバコの吸い殻や鳥の糞など区民から清掃の要望が多く寄せられる戸塚駅東口ペDESTリアンデッキについては、月に1度清掃委託を実施します。</p> <p>なお、戸塚駅周辺の歩道清掃委託や地域清掃等で使用するバイオマス製のごみ袋を購入することで温室効果ガスの削減に配慮します。</p> <p>さらに、毎月2回地域のボランティアと職員による区庁舎周辺の早朝清掃を実施します。</p>							
根拠・データ等	ヨコハマ3R夢プラン、横浜市ごみと資源の総量							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
戸塚駅周辺歩道清掃委託	単位	目標	95	95	95	95	95	95
	回	実績	92	58				
戸塚駅東口ペDESTリアンデッキ清掃委託	単位	目標	12	12	12	12	12	12
	回	実績	12	12				
戸塚区役所周辺早朝清掃	単位	目標	23	23	23	23	23	23
	回	実績	22	19				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸塚区役所周辺の歩道清掃：毎週2回 年95回</li> <li>東口ペDESTリアンデッキ清掃：毎月第3水曜 年12回</li> <li>地域のボランティアと区役所職員による早朝清掃：毎月第1・3水曜 年23回</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① クリーンタウン横浜事業	2,614	2,697	▲ 83	清掃区域見直しによる委託料の減
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		2,614	2,697	▲ 83	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	松本 久志	武田 正善	稲葉 拓哉



事業区課	戸塚区	地域振興課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費		地域コミュニティ費				
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	消費生活推進員活動事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,040					1,040
令和3年度	1,040					1,040
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	905	1,010	1,010	1,040	1,040	1,040
	市債+一般財源	905	1,010	1,010	1,040	1,040	1,040
決算	事業費	881	974	968			
	市債+一般財源	881	974	968			

事業概要	高齢者の消費トラブルや架空請求など、身近な消費者被害を未然に防止するため、消費生活推進員と協力して適切な情報を発信し、安全で快適な消費生活を実現します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市消費生活条例、横浜市消費生活条例施行規則、横浜市消費生活推進員要綱、横浜市消費生活推進員戸塚区活動助成金交付要領							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「人と人がつながるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	消費生活をとりまく問題は、経済社会の進展に伴い複雑化、多様化しており、悪質商法が巧妙化するなど被害は増加しています。消費者への適切な情報提供などにより、自立して行動する消費者の育成と支援、ネットワークづくり、見守りが課題となっています。 戸塚区では、2か月に1度、地区の代表と副代表が区役所に集まる場を設け、消費生活に関する情報や知識を共有するとともに、4つの班に分けた「班活動」を通じて広報誌の作成、講演会の開催、消費生活展の開催、食品ロス削減レシピの考案の活動を行うことで、悪質商法の被害防止や地域と連携した消費行動の推進を図ります。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県警察「犯罪統計」</li> <li>刑法犯認知件数：H28年 1,327件、H29年 1,202件、H30年 1,142件、R元年 1,190件、R2年 914件</li> <li>特殊詐欺認知件数：H28年 122件、H29年 47件、H30年 116件、R元年 94件、R2年 62件</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
消費生活推進員委嘱者数	単位	目標	—	—	—	—	—	—
	人	実績	158	161				
地区活動数	単位	目標	—	—	—	—	—	—
	回	実績	94	69				
活動参加者数	単位	目標	—	—	—	—	—	—
	人	実績	2,620	3,538				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区代表会議：5月、7月、9月、11月、1月、3月</li> <li>広報誌の発行：3月</li> <li>講演会の開催：2月</li> <li>消費生活展の開催：2月</li> <li>食品ロス削減レシピ作成：10月</li> </ul>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 消費生活推進事業	1,040	1,040	0	
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		1,040	1,040	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	武田 正善	稲葉 拓哉

事業区課	戸塚区	総務課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費	防犯・防災・安全対策費					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	緊急時情報伝達システム運用事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	690					690
令和3年度	740					740
増△減	△ 50	0	0	0	0	△ 50

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	899	640	640	690	690	690
	市債+一般財源	899	640	640	690	690	690
決算	事業費	493	602	526			
	市債+一般財源	493	602	526			

事業概要	災害時における適切な避難行動等を促すため、気象警報の発表、避難指示の発令及び避難場所の開設情報等を本システムの登録者に伝達します。							
事業開始年度	令和2年度							
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、水防法、土砂災害防止法、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例及び各種横浜市防災計画							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「安全・安心を実感できるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域内又は浸水想定区域内の要援護者施設及び浸水想定区域内の地下施設に災害情報を迅速に伝達し、各施設が避難確保計画等に基づいた災害対応を取れるよう支援します。</li> <li>土砂災害警戒情報の発表とともに避難指示を発令する区域（以下、「即時避難指示対象区域」という。）に居住する世帯に対して、避難指示の発令情報等を迅速に伝達し、適切な避難行動を促します。</li> <li>要援護者等、避難行動に他者の手助けが必要な方を地域で支える共助を推進することが必要です。</li> </ul>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒区域内又は浸水想定区域内の要援護者施設及び浸水想定区域内の地下施設：約220施設</li> <li>即時避難指示対象区域に居住する世帯：約175世帯</li> <li>自治会長及び町内会長：約220名</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
登録者数（即時避難指示対象区域）	単位	目標	60	60	85	85	85	85
	世帯	実績	55	60				
	単位	目標						
	実績							
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成29年度：緊急時情報伝達システムの導入 令和29年度以降：緊急時情報伝達システムの運用（登録啓発、登録者への配信訓練及び災害時の情報配信）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 緊急時情報伝達システム運用事業	690	740	▲ 50	実績による減
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		690	740	▲ 50	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務
	甘粕 亜矢	神山 徳彦	係 松永 祐樹

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費	文化・スポーツ・学習振興費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	スポーツ推進委員支援費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,351					2,351
令和3年度	3,661					3,661
増△減	△ 1,310	0	0	0	0	△ 1,310

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	2,269	3,926	2,269	3,700	2,351	3,700
	市債+一般財源	2,269	3,926	2,269	3,700	2,351	3,700
決算	事業費	2,202	2,515	1,171			
	市債+一般財源	2,202	2,515	1,171			

事業概要	区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るため、スポーツ推進委員の活動を支援します。							
事業開始年度	平成7年度							
根拠法令・方針決裁等	スポーツ基本法・横浜市スポーツ推進委員規則・横浜市スポーツ推進委員推薦要綱・戸塚区スポーツ推進委員活動補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	スポーツ推進委員は地域住民と連携し、地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション振興事業を展開していく役割を担っています。住民が主体となった活動は、スポーツへの参加意欲を高め、スポーツを通じた世代間や地域間の交流が生まれ、地域コミュニティを活性化させます。							
根拠・データ等	戸塚区スポーツ推進委員 令和3年度 委嘱数204名 (39歳以下15名 49歳以下51名 59歳以下68名 60歳以上70名) 令和2年度 委嘱数203名 (39歳以下13名 49歳以下47名 59歳以下68名 60歳以上75名) 令和元年度 委嘱数201名 (39歳以下14名 49歳以下45名 59歳以下70名 60歳以上72名)							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
スポーツ推進 委員委嘱数	単位	目標	210	201	203	203	203	203
	人	実績	201	203				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和3年 第33期スポーツ推進委員委嘱 令和5年 第34期スポーツ推進委員委嘱 ・ 2月：推薦締切 4月：委嘱 ・ 6月：補助金交付 7月～3月：地域でのスポーツイベント開催							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① スポーツ推進委員事業	2,351	3,661	▲ 1,310	令和3年度委嘱終了による減
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		2,351	3,661	▲ 1,310	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	有泉 廣隆	田中 芳晴

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	
予算区分	統合事務事業費	子育て・子ども・青少年育成費				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	青少年指導員事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	4,320					4,320
令和3年度	3,016					3,016
増△減	1,304	0	0	0	0	1,304

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	4,360	3,016	4,673	3,092	4,320	3,092
	市債+一般財源	4,360	3,016	4,673	3,092	4,320	3,092
決算	事業費	4,215	3,016	3,469			
	市債+一般財源	4,215	3,016	3,469			

事業概要	青少年指導員活動に対し、交付金を交付します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市青少年指導員要綱、戸塚区青少年指導員活動交付金交付要領							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「人と人がつながるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	<p>少子化、就労形態等の社会的な変化により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、継続して地域で青少年の育成に取り組むことが必要です。また、令和元年度戸塚区区民意識調査の結果では、地域のイベント等に参加している区民が4割程度にとどまっている一方で、平成29年度に実施した同調査では、地域活動の運営に積極的に関わりたい、または機会があれば関わってもよいという区民が6割を超える結果となりました。</p> <p>このような状況から、戸塚区青少年指導員協議会と連携し、青少年を中心とした地域交流を活性化させることで、若い世代における地域の担い手づくりにつなげていきます。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度戸塚区区民意識調査（年代別 地域の催しや集いなどに、1年以内に参加したことがあるか）＜調査結果＞ 10代 「ある」41.4% 「ない」58.6%</li> <li>平成29年度戸塚区区民意識調査（年代別 地域の活動に運営側として関わることにについて）＜調査結果＞ 10代 「地域の一員として積極的に関わりたい」3.7% 「機会があれば関わってもよい」57.4% 「できれば関わりたい」16.7% 「関わりたい」5.6% 「分からない」14.8% 「無回答」1.9%</li> </ul>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
青少年指導員数	単位	目標	210	210	200	200	200	210
	人	実績	206	199				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	令和2年 第27期青少年指導員委嘱 令和4年 第28期青少年指導員委嘱 ・4月 委嘱式 ・6月 補助金交付 7月～3月 協議会の運営及び各地区活動の支援 10月・2月 青少年指導員だより発行							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 青少年指導員事業	4,320	3,016	1,304	令和4年度委嘱による増
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		4,320	3,016	1,304	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	情野 純平	鈴木 達郎

事業区課	戸塚区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	
予算区分	統合事務事業費					
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	学校・家庭・地域連携事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和4年度	1,025	0	0	0		1,025	
令和3年度	1,025	0	0	0		1,025	
増△減	0	0	0	0	0	0	

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	1,010	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025
市債+一般財源	1,010	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025
事業費	1,007	993	453					
市債+一般財源	1,007	993	453					

事業概要	区内の11中学校区において、学校・家庭・地域とが協働で行う事業を通じて、青少年の健全な育成を図ります。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	戸塚区学校・家庭・地域協働事業交付金交付要綱							
運営方針等との関連	令和3年度戸塚区運営方針 II 目標達成に向けた施策「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり」							
事業目的・効果 (必要性)	次代を担う児童・生徒をはじめとする青少年が、いきいきと豊かに成長するには、学校・家庭・地域が協働してそれぞれが持つ教育機能を発揮し、様々な交流や体験の機会を充実させることが求められています。各学校区で地域の特性を生かした事業を展開することで、児童生徒の情操を養うことにつなげることができ、地域の方々との交流を一層深めることができます。							
根拠・データ等	中学校ブロック 11校区							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施事業数	単位	目標	27	27	27	27	27	27
	件	実績	27	13				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	2月 交付金申請受付 3月 審査 4月 交付							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	① 学校・家庭・地域連携事業	1,025	1,025	0	
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計		1,025	1,025	0

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	金森 裕一	山本 真希	高野 幸一

(様式7)

## 事業計画書目次

[ 戸塚区 ] 3款2項1目 区庁舎・区民利用施設管理費 (単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	区庁舎管理費	124,395	103,531	122,294	102,323	2,101	1,208	
2	区民利用施設管理費	438,651	438,577	440,949	440,815	△ 2,298	△ 2,238	
3						0	0	
4						0	0	
5						0	0	
6						0	0	
7						0	0	
8						0	0	
9						0	0	
10						0	0	
11						0	0	
12						0	0	
13						0	0	
14						0	0	
15						0	0	
16						0	0	
17						0	0	
	計	563,046	542,108	563,243	543,138	△ 197	△ 1,030	

# 令和 4年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
予算区分	区庁舎・区民利用施設管理費	区庁舎等	1	目	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項
事業名称	区庁舎管理費				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	124,395	0	0	20,864		103,531
令和3年度	122,294	0	0	19,971		102,323
増△減	2,101	0	0	893	0	1,208

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予 事業費	121,810	120,568	129,629	125,000	125,000	125,000
算 市債+一般財源	102,685	99,635	102,072	103,000	103,000	103,000
決 事業費	122,141	126,351	123,319			
算 市債+一般財源	99,641	104,998	102,575			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸塚区(総合)庁舎、駐車場及び公用車等の管理運営を行います。</li> <li>・東戸塚駅行政サービスコーナーの管理運営を行います。</li> <li>・地域課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指し、NPO法人と協働でとつか区民活動センターの運営を行います。</li> <li>・戸塚土木事務所の庁舎及び車両の管理運営を行います。</li> <li>・区庁舎・区民利用施設に関する設備の修繕に対応します。</li> </ul>
事業開始年度	平成6年
根拠法令・方針決裁等	消防法、建築基準法、駐車場法、道路運送車両法、租税特別措置法 高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律 建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市駐車場条例等 横浜市行政サービスコーナー規則 市民活動支援センター事業展開ガイドライン、とつか区民活動センター事業実施要綱 横浜市庁舎管理規則、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市公有財産規則、横浜市駐車場条例等
事業目的・効果(必要性)	区庁舎等の適正な維持・管理を目的とします。  法律等に基づいて施設の維持・管理に必要な清掃・点検等を行います。
事業スケジュール	4月～3月

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	区庁舎	72,863	70,837	2,026
②	行政サービスコーナー	1,736	1,625	111	実績による増
③	区民活動支援センター	35,658	35,658	0	前年度同額
④	土木事務所	12,688	12,824	▲136	実績による減
⑤	区庁舎修繕費	1,450	1,350	100	実績による増
	細事業合計	124,395	122,294	2,101	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	甘粕 亜矢	馬上 征人	宮野 竜一

# 令和 4 年度 事業計画書

事業区課	戸塚区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	5
予算区分	区庁舎・区民利用施設管理費	区民利用施設				
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目		
事業名称	区民利用施設管理費					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	438,651	0	0	74		438,577
令和3年度	440,949	0	0	134		440,815
増△減	△ 2,298	0	0	△ 60	0	△ 2,238

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	子算					
事業費	425,661	432,386	439,010	437,000	437,000	437,000
市債+一般財源	425,661	432,386	439,010	437,000	437,000	437,000
決算						
事業費	425,168	430,374	437,259			
市債+一般財源	425,168	430,374	437,259			

事業概要	区民利用施設の管理運営を行います。	
事業開始年度	平成6年度	
根拠法令・方針決裁等	横浜市公会堂条例、横浜市区センター条例、横浜市公園条例、横浜市老人福祉施設条例、横浜市スポーツ施設条例	
事業目的・効果 (必要性)	地域住民が身近な場所で文化、スポーツなどの事業を行い、地域社会の連携の強化を促進することを目的としています。地区センター等については多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図る指定管理制度を導入しています。	
根拠・データ等	各条例・要綱等に基づいて設置しています。	
事業スケジュール	第4期指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 踊場地区センター 令和4年4月1日～令和9年3月31日 地区センター5施設、コミュニティハウス(条例型)、ログハウス、老人福祉センター、スポーツセンター	

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	公会堂	31,508	31,508	0
②	地区センター	246,854	246,174	680	施設運営の実績による増
③	集会所	0	0	0	
④	スポーツ会館	0	0	0	
⑤	ログハウス	8,341	8,088	253	施設運営の実績による増
⑥	区民文化センター	0	0	0	
⑦	老人福祉センター	43,340	43,340	0	
⑧	老人憩いの家	0	0	0	
⑨	コミュニティハウス(条例型)	14,221	13,984	237	施設運営の実績による増
⑩	コミュニティハウス(学校施設活用型)	49,312	48,559	753	契約予定額の増
⑪	スポーツセンター	38,800	41,983	▲ 3,183	施設運営の実績による減
⑫	広場・遊び場	1,275	1,356	▲ 81	施設閉鎖に伴う減
⑬	国際交流ラウンジ	0	0	0	
⑭	区民利用施設小破修繕	5,000	5,957	▲ 957	実績による減
⑮		0	0	0	
⑯		0	0	0	
⑰		0	0	0	
	細事業合計	438,651	440,949	▲ 2,298	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩崎 広之	情野 純平	田中 芳晴



区民利用施設施設概要等一覧(委託・補助)

概要(戸塚)区

種別	事業目的・概要	根拠法令等	名称	所在地	構造	施設内容	管理運営団体	開館年月日
地区センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市地区センター条例	戸塚	戸塚町127	RC造地下3階地上4階 延床面積 1,776.1㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和53年10月11日
			大正	原宿 3-59-1	RC造地上2階 延床面積 1,881㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和56年12月11日
			東戸塚	川上町 4-4	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,869.3㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成1年10月28日
			上矢部	上矢部町2342	RC造地上5階 延床面積 1,950㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者 NPOみんなのまちづくりクラブ・NPO建物管理ネットワーク	平成5年5月11日
			舞岡	舞岡町3020-1	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,821.8㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者 公益財団法人横浜YMC A	平成10年5月30日
			踊場	汲沢二丁目23番1号	RC造地上2階 延床面積 1,775.2㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成16年2月15日
こどもログハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	都市公園法第2条第2項 横浜市公園条例、横浜市青少年施設条例	踊場公園	汲沢 8-11	木造 2階建地下1階 205.33㎡	滑り台、登り棒、地下迷路他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成3年6月1日
老人福祉センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例	戸塚柏桜荘	戸塚町2304-5	R C 造 地上 2 階建 延床面積 1,669㎡	大広間・機能回復訓練室 生きがい作業室・会議室	指定管理者 社会福祉法人朋光会	平成2年6月14日
老人憩いの家	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例、横浜市老人憩いの家運営要綱	—	—	—	—	—	平成16年度で廃館
コミュニティハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	コミュニティスクール事業に関する基本事項 コミュニティハウス整備基本方針 コミュニティハウス(学校施設活用型)の設置に関する要綱	深谷小	深谷町1688-2	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成2年4月26日
			東汲沢小	汲沢 1-16-1	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月18日
			平戸台小	平戸町1165	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月30日
			名瀬中	名瀬町791-6	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成5年6月20日
			秋葉中	秋葉町271-3	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成9年4月30日
			柏尾小	柏尾町1317	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成11年4月24日
			下郷小	戸塚町2447-2	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成13年5月1日
			倉田	上倉田町1867	RC造地上2階建 342㎡	中小会議室、和室他	指定管理者 社会福祉法人 開く会	平成18年10月15日
スポーツセンター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市スポーツ施設条例	戸塚	上倉田町477	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建延床面積 3,975㎡	体育室2室、トレーニング室、研修室他	指定管理者 公益財団法人横浜市スポーツ協会	昭和59年4月1日
子供の遊び場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	横浜市遊び場要綱	遣ヶ谷	上倉田町135	1,607.0㎡	ブランコ、シーソー	地元管理運営委員会	昭和50年
			子之八幡社	上倉田町977	366.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和36年
			新生会第二	汲沢8-25-7	1,011.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和53年
			東明会	汲沢 2-17	221.0㎡	ブランコ	地元管理運営委員会	昭和54年
			品川団地	小雀町417	205.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和44年
			小雀	小雀町1193	1,980.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和29年
			名瀬一丁目	名瀬町272	231.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和38年
			名瀬町	名瀬町1773	201.0㎡	ブランコ、滑り台	地元管理運営委員会	昭和46年
			俣野町神明社	俣野町1277	600.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和46年
			踊場	矢部町1626	284.0㎡	ブランコ、滑り台	地元管理運営委員会	昭和37年
			谷矢部東	矢部町871-37	112.0㎡	滑り台、シーソー等	地元管理運営委員会	昭和62年
			矢部町(柳作)	矢部町970-2	276.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和62年
町のはらっぱ	地元管理運営委員会に対し補助金を支出します	横浜市広場・はらっぱ要綱 戸塚区町のはらっぱ管理運営費補助金交付要領	三角広場	原宿 4-22	2,062.53㎡		地元管理運営委員会	平成 5 年
			打越グラウンド	吉田町1335-1	2,423㎡		地元管理運営委員会	平成18年
シルバー健康広場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	区シルバー健康広場整備並びに管理運営委員会設置要綱	川上第一団地	川上町406-6	1,461.25㎡	ゲートボール場	地元管理運営委員会	平成18年
			柏尾野外活動	柏尾町757	2,145.00㎡	ゲートボール場	地元管理運営委員会	昭和60年
公会堂	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市公会堂条例	戸塚	戸塚町127	RC造地下3階地上4階 延床面積 2,562.88㎡	講堂、会議室	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和53年10月11日